



# MDA-W770J / MDA-W750J

MD/CD/DSP/FM 多重ヘッドユニット MD / CD / DSP ヘッドユニット

## 取扱説明書

検索には各ページ上部角のアイコンをお使いになると便利です。



安全にお使いいただくために 2



目次と基本操作 6



CD を聴く 12



MD を聴く 19



ラジオを聴く 25



イコライザー/サラウンドの操作 33/35



DHE / L.P.S.の操作 37/39



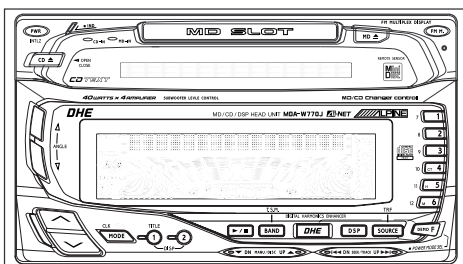
FM 多重文字情報を見る 40



拡張 (TV) 便利な機能 / 拡張ユニット (TV) をコントロールする 46/61



リモコンで操作する 64



MDA-W770J

このたびは、お買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。  
お使いになる前に説明書をよくお読みのうえ、理解してからお使いください。  
お読みになった後も、説明書を手元に置いてご使用ください。  
本書の一部または全部を無断で転載しないでください。





## 安全にお使いいただくために、必ずお守りください

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。説明書の指示を守らなかった事による不具合に対して、当社は責任を負いかねます。








この取扱説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

### 表示の意味

 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### 表示の例

	△記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。		一般的な注意・警告を通告します。
	⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。	 	一般的な禁止の通告をします。 分解により傷害が発生する可能性がある場合の禁止の通告をします。
	!記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。		
 <b>Memo</b>	この表示では、本機を操作するうえでの補足説明を示します。		

本機は国内専用です。規格の違う外国では使用できません。

本機のお手入れは、乾いた布が堅く絞った布で拭いてください。ベンジンやシンナー類は、ケースが変質 / 変形しますので絶対に使わないでください。

夏期など車内の温度が高いときは、車内の温度を下げてから使用してください。



## 警告

分解・改造をしない

分解や改造は、事故・火災・感電の原因になります。



小物類は幼児の手の届かないところに保管する  
小物類<電池・ネジなど>は幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。



ヒューズの交換は容量を守る

ヒューズ交換は、必ず規定容量（アンペア数）を守ってください。規定容量以上を使用すると、火災の原因となります。



異常な状態になったら、直ちに使うのをやめる  
音や画面が出ない・異物が入った・煙が出る・変な臭いがするなど異常が起きましたら、直ちに使用を中止し、必ず<お買い上げの販売店>にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。



運転中は操作をしない・表示を見ない

運転者は走行中に操作をしたり表示を見たりしないでください。走行中に操作をすると前方不注意となり事故の原因となります。必ず安全な場所に車を停車させてください。





安全にお使いいただくために、必ずお守りください

## ⚠️ 注意

### 音量を上げすぎない

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。



### 車以外に使わない

本機を車載用として以外は使用しないでください。感電やケガの原因となることがあります。



### 新旧の電池を混ぜない

#### 極性を間違えないように挿入する

新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定していない電池を使用しないでください。また、挿入する際は極性 < + ・ - > に注意し指示通りに入れてください。電池の破裂、液漏れにより、火災やケガの原因となることがあります。



### 挿入口やすき間には異物を入れない

ディスクの挿入口や可動ディスプレイのすき間に手や指、異物を入れないでください。ケガや故障の原因となることがあります。



### 運転の妨げになる操作は停車させてから行う

可動ディスプレイの開閉やディスクの出し入れ操作が運転（シフトレバー操作など）の妨げになる場合は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。





安全にお使いいただくために、必ずお守りください

## 取り扱い上のご注意（共通）

本機の近くでは携帯電話や無線機を使わない

雑音や誤動作の原因になる場合があります。電話や無線機は、本機から離れてご使用になることをお勧めします。

## 取り扱い上のご注意（CD）「ディスクの取り扱い」(67 ページ) も合わせてご覧ください。

本機で使用できるディスクについて

下記ディスクマークのついているコンパクト・ディスクをお使いください。

CD-R (CD-Recordable)/CD-RW (CD-ReWritable)には対応していません。



コンパクトディスク（CD）の取り扱い

次の点を守ってお使いください。盤面にさわらない / 直射日光下に置かない / ラベルを貼ったり文字を書いたりしない / ホコリやごみが付いたら拭きとる。

結露にご注意

寒い車内を急に暖めると、信号読み取り装置のレンズに露が付き誤動作の原因になります。このようなときは、1 時間ほどディスクを取り出しておくと正常に動作します。

新品のディスクを聴くときは

ディスクの側面やセンターホール面に突起箇所（バリ）があるとイジェクトされます。

このような場合は、ボールペンなどで外側の縁をなぞって突起箇所を取り除いてください。

音飛びについて

路面状況の悪いところを走行しているときに音飛びを起こすことがありますが、プレーヤーには影響ありません。

特殊な形状のディスクは使わない

必ず円形のものをお使いください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因になります。

## 取り扱い上のご注意（MD）「ミニディスクについて」(68 ページ) も合わせてご覧ください。

ミニディスク（MD）の取り扱い

次の点を守ってお使いください。シャッターを開けない / 内部にさわらない / 直射日光下に置かない / ラベルは正しい位置に一枚だけしっかり貼る / ホコリやごみが付いたら拭きとる。

結露にご注意

寒い車内を急に暖めると、信号読み取り装置のレンズに露が付き誤動作の原因になります。このようなときは、一時間ほどミニディスクを取り出しておくと正常に動作します。

音飛びについて

路面状況の悪いところを走行していると「音飛び」を起こすことがありますが、プレーヤーには影響ありません。

安全にお使いいただくために

# 目次



## 安全にお使いいただくために

警告 / 注意.....	3
目次.....	6



## 基本操作

電源の ON/OFF .....	8
ファンクション・スイッチの使い方.....	8
ファンクション・スイッチの機能と表示 ...	9
音量の調整 .....	10
ディスプレイの角度調整 .....	11



## CD を聴く

可動ディスプレイの開閉 .....	12
演奏する .....	13
曲の早送り / 早戻しをする .....	14
曲の頭出しをする .....	14
曲の初め (イントロ) だけを聴く .....	15
繰り返し聴く .....	15
曲順を変えて聴く .....	16
タイトル / テキストを表示する .....	17
CD チェンジャーの操作 .....	18



## MD を聴く

演奏する .....	19
曲の早送り / 早戻しをする .....	20
曲の頭出しをする .....	20
曲の初め (イントロ) だけを聴く .....	21
繰り返し聴く .....	21
曲順を変えて聴く .....	22
テキストを表示する / スクロールする ...	23
MD チェンジャーの操作 .....	24



## ラジオを聴く

周波数で放送局を選ぶ .....	25
自動的に放送局を選ぶ .....	26
放送局を記憶する .....	27
自動的に放送局を記憶する .....	28
FM/AM 放送局を合わせて記憶する .....	29
記憶した放送局を受信する .....	30
道路交通情報を聴く .....	31
タイトルを表示する .....	32



## イコライザーの操作

イコライザー特性 (メーカー設定) を選ぶ ...	33
イコライザー (メーカー設定) パターンについて ...	33
自分でイコライザー・カーブを作る .....	34



## サラウンドの操作

サラウンド・モード (メーカー設定) を選ぶ.....	35
サラウンド・レベルの調整 .....	36

## DHE

### DHE の操作

DHE モードを選ぶ .....	37
DHE パワーモード .....	38



## L.P.S.の操作

リスニング・ポジションを合わせる .....	39
------------------------	----

FM 多重文字情報を見る  
(MDA-W770J のみ)

FM 文字多重放送について	40
FM 多重モードを選ぶ	41
番組メニューを選ぶ	42
ページの切りかえ	43
文字情報を見ながらディスク演奏を 聴く	43
スクロールの設定	44
文字情報の記憶	45
記憶した情報を呼び出す	45



## 便利な機能

タイトルをつける	46
記憶したタイトルで CD を検索する	48
記憶したタイトルを消す	49
イコライザー / サラウンド / DHE の カーブを記憶する	50
記憶したカーブを呼び出す	51
グラフィック スクリーンを切りかえる	52
サウンドガイド機能	53
外部割り込みモードの ON/OFF	54
テキスト・スクロールの設定	55
ダイバーシティの対応	56
デモンストレーション機能	57
時刻を表示する	58
時刻を設定する	59
サブウーハーレベルを調整する	60

拡張  
(TV)拡張ユニット (TV) を  
コントロールする

TV の放送局を選ぶ	61
TV のチャンネルを記憶する	62
自動で TV の放送局を記憶する	63
記憶した TV の放送局を呼び出す	63



## リモコンで操作する

使用時のご注意	64
基本操作/CD/MD を操作する	65
ラジオ/イコライザー/サラウンドを操作する	66
FM 多重を操作する (MDA-W770J のみ)	66

## その他

ディスクの取り扱い	67
ミニディスクについて	68
故障かな? と思ったら	69
規格	72
保証について	73
DHE について	74
お問い合わせ窓口	76

この製品はドルビーラボラトリーズライセンス  
ングコーポレーションの米国及び外国特許に基  
づく許諾製品です。



## Memo



## 演奏する

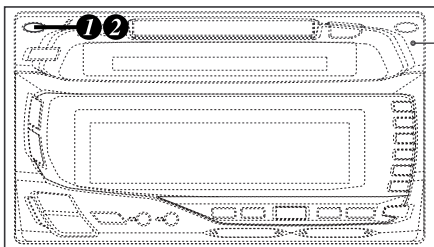
よく使う操作項目には「アイコン(絵表示)」  
がついています。アイコンは、各ページ上  
部の角にも載っていますので、検索する  
ときに利用してください。



## 電源の ON/OFF

### ファンクション・スイッチの使い方

## 電源の ON/OFF



リセット・  
スイッチ

リセットしましょう

初めて使う、CD チェンジャー等を取り付けた、バッテリーを交換したときは、「リセット・スイッチ」を押してください。

- 1** PWR (パワー) スイッチを押します。  
CD ▲、MD ▲ スイッチ以外のどのスイッチを押しても電源 ON となります。



- 2** 電源を切るときは、再度 PWR スイッチを押します。

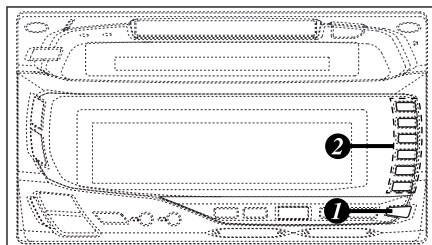


**Memo**

電源 OFF のとき CD ▲ スイッチを押すと、ディスプレイが開きます。このとき、CD を挿入すると電源 ON となり演奏が始まります。

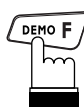
## ファンクション・スイッチの使い方

ファンクション・スイッチを覚えて、操作をマスターしよう。



- 1** F (ファンクション) スイッチを押します。

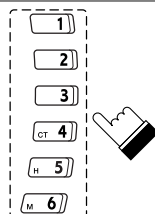
押すごとにファンクション・モードが切りかわります。(9 ページの表を参照してください。)



(MDA-W770J) (MDA-W750J)

- 2** 希望する機能を **[1]** ~ **[6]** スイッチのいずれかを押して操作します。

- ・詳しくは、「ファンクション・スイッチの機能と表示」(9 ページ)を参照してください。
- ・本機内蔵の CD/MD では、ファンクション・スイッチは使用しません。







## ファンクション・スイッチの機能と表示

ファンクション・スイッチを使うと [1] ~ [6] スwitchの隠された機能呼び出すことができます。

### ラジオモードのとき

放送局を記憶していた [2] スwitchは、ファンクション・モードが「ON」のとき、「ステレオ/モノラル」スswitchとして働きます。

ファンクション・モード スイッチ	ラジオ		CD/MDチェンジャー			TV	
	OFF	ON	OFF	ON1 (12チェンジャー接続時)	ON2	OFF	ON
[1]	1	D.A.P.	_____	1	7	1	_____
[2]	2	MONO	_____	2	8	2	_____
[3]	3	TUNE	SCRL	3	9	3	_____
[4]	4	_____	M.I.X. ALL	4	10	4	_____
[5]	5	_____	RPT ALL	5	11	5	_____
[6]	6	A.M.E	SCAN	6	12	6	A.M.E

### CDチェンジャーモードのとき

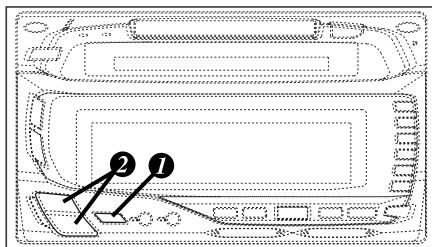
12枚チェンジャーと組み合わせれば、ファンクション・スイッチを2回押すと、7~12枚目のディスクをダイレクトに選ぶことができます。



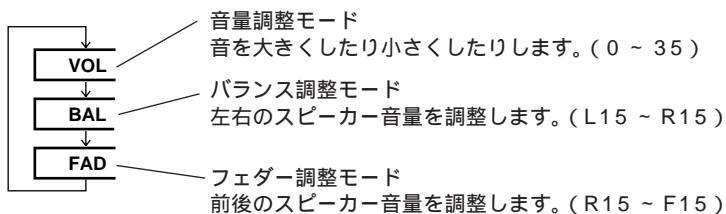
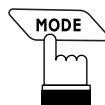
...CDチェンジャーでは、現在使用しません。将来開発予定のSCRL (スクロール) 対応CDチェンジャー接続時に使用します。



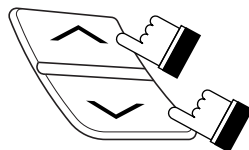
# 音量 / バランス / フェダーの調整



- 1** MODE (モード) スイッチを押して調整したいモードを選択します。押すごとにモードが切りかわります。



- 2** モードを選択し、5 秒以内に 、 ボタンを押して好みのレベルに調整します。

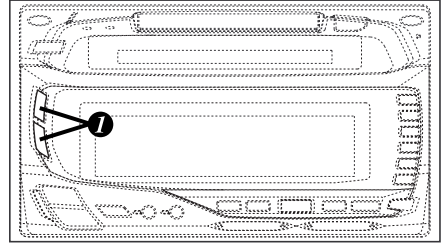


モードを選択して 5 秒間操作を行わなかった場合、選択前の表示に戻ります。

、 ボタンは、押し続けると連続で変化します。

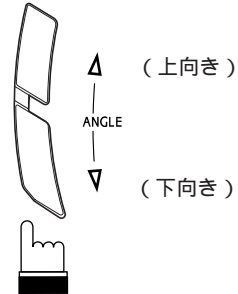
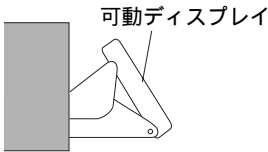


# ディスプレイの 角度調整



可動ディスプレイ部を見やすい角度（5段階）に調整することができます。

## 1 ANGLE スイッチを押します。



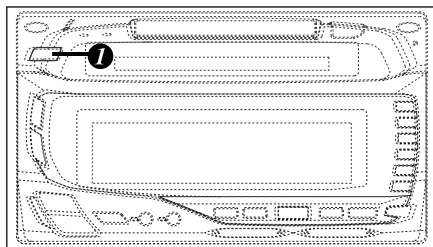
**Memo** ディスプレイは、イグニッション・キー（エンジン・キー）を OFF にすると閉まります。  
調整したディスプレイの角度は記憶されます。再び電源を ON にしたとき調整する必要はありません。



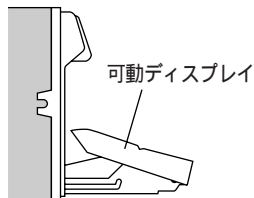
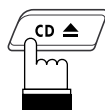
**注意** ディスプレイの開閉、および角度調整時に本体とのすき間に指をはさまないでください。ケガや故障の原因になります。  
可動ディスプレイの裏面が、暖かくなりますが故障ではありません。手をふれないでください。



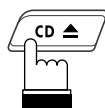
## 可動ディスプレイの開閉



- 1** CD ▲ スイッチを押します。  
可動ディスプレイが開きます。



開いた可動ディスプレイを閉めるときには、CD ▲ スイッチを押します。  
可動ディスプレイは閉まります。



可動ディスプレイが開いたとき、無理な衝撃を与えないでください。故障の原因になります。

気温が低いときは、電源を入れた後しばらくディスプレイが暗いことがあります。時間がたつと正常な明るさに戻ります。

ディスプレイを閉めたとき、ディスプレイは記憶された角度で止まります。

### ⚠️ 注意

ディスプレイの開閉、および角度調整時に本体とのすき間に指をはさまないでください。ケガや故障の原因になります。

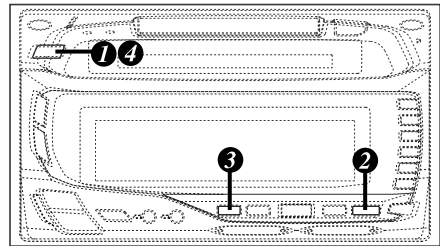
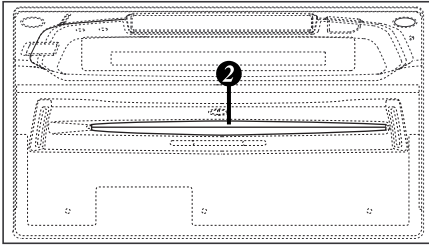
可動ディスプレイの裏面が、暖かくなりますが故障ではありません。手をふれないでください。

可動ディスプレイがフルオープン状態のまま約 30 秒間たつと、警告ブザーが鳴り続けます。

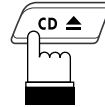
可動ディスプレイがフルオープン状態のままでは、走行しないでください。



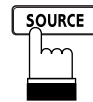
# 演奏する



- 1** CD ▲ スイッチを押します。  
可動ディスプレイが開きます。



- 2** ディスクのラベル面を上にして挿入口にディスクを入れます。ディスクが自動的に引き込まれて、可動ディスプレイが閉まり、演奏が始まります。ディスプレイには演奏されている曲の番号が表示されます。すでにディスクが入っているときは、SOURCE スイッチを押して、CD モードにします。押すごとにモードが切りかわります。



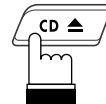
↳ TUNER → MD → CD → CDチェンジャー ( CD チェンジャー接続時のみ )

- 3** 演奏を中止するときは、▶/|| スイッチを押します。再度 ▶/|| スイッチを押すと演奏が始まります。



CD II T01

- 4** ディスクを取り出すときは、CD ▲ スイッチを押します。



EJECT



CD シングル ( 8cm ) を聴く場合、誤動作の原因となりますのでアダプターはつけないでください。

最後の曲まで演奏されると、自動的に最初の曲に戻って演奏されます。

ディスクが挿入口に引き込まれようとしているときは、ディスクを引き出したり、電源の ON/OFF をしないでください。

イグニッション・キー ( エンジン・キー ) が OFF の状態では、ディスクを挿入しないでください。無理に挿入すると故障の原因になります。

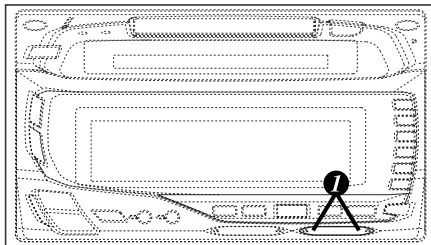
一度に挿入できるディスクは、一枚だけです。

ディスクを挿入口から取り出さずにいると、数秒後にディスクは自動的に本機へ引き込まれます。

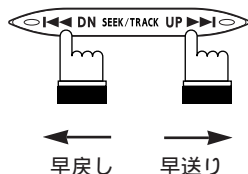
**△注意** ディスプレイの開閉、および角度調整時に本体とのすき間に指をはさまないでください。ケガや故障の原因になります。可動ディスプレイの裏面が、暖かくなりますが故障ではありません。手をふれないでください。



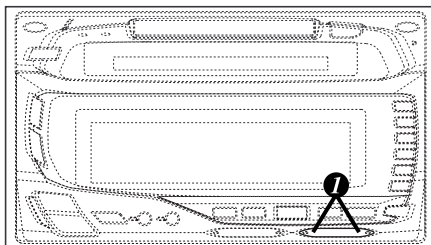
## 曲の早送り / 早戻しをする



- 1** ◀◀ DN スイッチまたは UP ▶▶ スイッチを押し続けます。  
聴きたいところで手を離すと、そこから演奏が始まります。



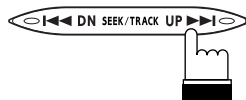
## 曲の頭出しをする (ミュージック・センサー)



- 1** (演奏中の曲の頭出しをする場合)  
◀◀ DN スイッチを軽く押します。  
今、演奏されている曲の頭から演奏されます。  
聴きたい曲がさらに前にあるときは、この操作を繰り返します。

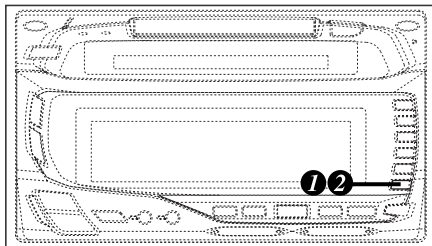


- (次の曲の頭出しをする場合)  
UP ▶▶ スイッチを軽く押します。  
次の曲の頭から演奏されます。  
聴きたい曲がさらに後ろにあるときは、この操作を繰り返します。

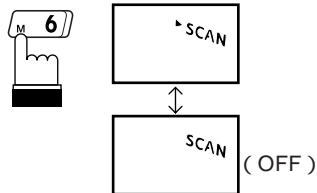




## 曲の初め(イントロ)だけを聴く SCAN (スキャン)



- 1** **[M 6]** (SCAN) スイッチを押します。  
次の曲から順に、曲の初め(イントロ)だけが約 10 秒間ずつ演奏されます。

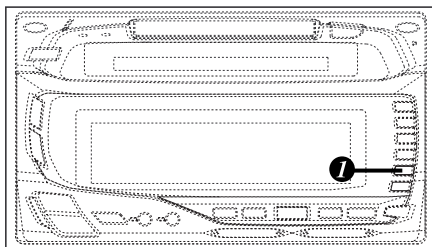


- 2** 聴きたい曲が見つかったら、再度 SCAN スイッチを押します。

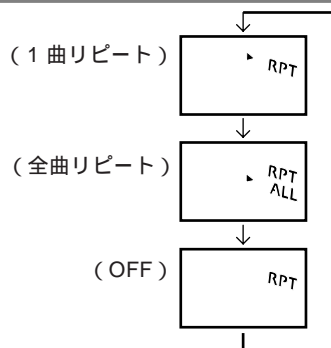
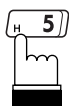


CD を聴く

## 繰り返し聴く RPT (リピート演奏)



- 1** 聴きたい曲が演奏されているときに、**[H 5]** (RPT) スイッチを押します。演奏中の曲が終わると選択した曲が繰り返し演奏されます。解除するときは、再度 RPT スイッチを押します。



チェンジャー・モード時

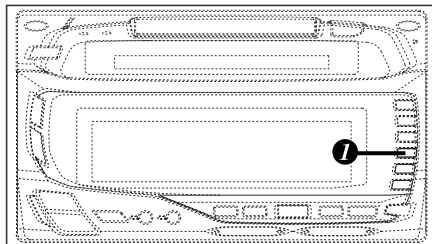


チェンジャー (REPEAT ALL 機能を持つ製品) を接続したときは、ディスク全曲の繰り返し演奏 (全曲リピート) ができます。



# 曲順を変えて聴く M.I.X.

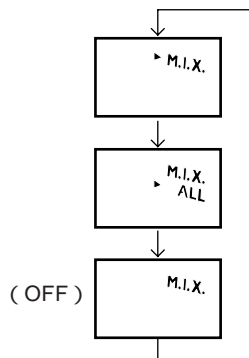
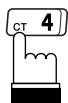
(ミュージック・イン・クロスプレイ)



1

④ (M.I.X.) スイッチを押します。

曲が順不同に演奏されます。解除するには、再度 M.I.X. スイッチを押します。



チェンジャー・モード時



**Memo**

本機内蔵の CD では、全曲の演奏が終わると、別の順序で演奏されます。

M.I.X. 演奏のときは、1 曲リピートはできません。

チェンジャー (M.I.X. ALL 機能を持つ製品) と接続したときは、M.I.X. の次にくる表示が ALL になります。これは全てのディスクの曲が順不同に演奏されます。

チェンジャーでは M.I.X. 演奏中のディスク全曲を終了すると、次のディスクに移り、さらに M.I.X. 演奏を続けます。

きれいな音で楽しむには

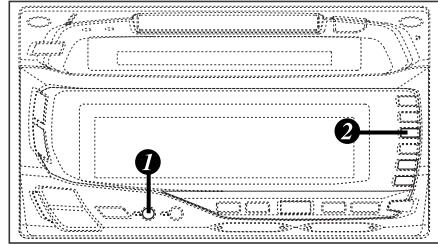
音楽を聴いているときの「パチパチ、ヒューヒュー」といった雑音は、車両雑音がオーディオ・システムに進入してきたために起こる現象です。このような場合、アース線の接続にゆみがないかチェックしてください。また、ノイズフィルタを使えば効果的に雑音を減らすことができますので、販売店にお問い合わせください。





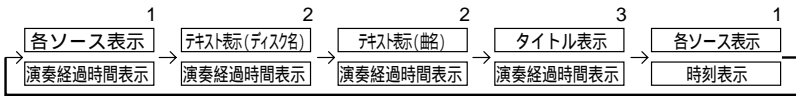


# タイトル/テキスト を表示する



タイトルが入力されていれば、ディスプレイにCDタイトルを表示することができます。詳しくは、「タイトルをつける」(46ページ)を参照してください。また、CDテキスト対応の音楽CDの演奏中は、ディスク名/トラック名などのテキスト表示が可能です。

- 1** CD演奏中に、TITLEスイッチを押します。  
押すごとに表示モードが切りかわります。




- 1 ..."COMPACT DISC"または、"6/12 CD Changer"と表示します。
- 2 ...CD TEXT 対応の音楽 CD 演奏中に表示されます(本機内蔵の CD または CD テキスト対応チェンジャーのみ)。CD TEXT に対応していない場合は、"No Text"と表示します。
- 3 ...タイトルが入力されていない場合は"NO TITLE"と表示します。

## 「タイトル」と「テキスト」について

**タイトル**：本機では、CD に名前を入力することができます。(46ページ参照) この入力したものが「タイトル」です。

**テキスト**：CD TEXT 対応のディスクには、あらかじめ、ディスク名/曲名などの文字情報が入力されています。この文字情報が「テキスト」です。

- 2** テキスト表示が長い(16桁を越える)場合は  (SCRL) スイッチを押します。

(テキスト・スクロールの設定が「マニュアル」モード時のみ)



テキストを1桁ずつスクロール表示させます。スクロール表示後、通常モードに戻ります。

スクロールの途中で解除するには、再度 SCRL スイッチを押します。

スクロール表示できるのは、テキスト表示のみです。タイトル表示では、スクロールを行えません。

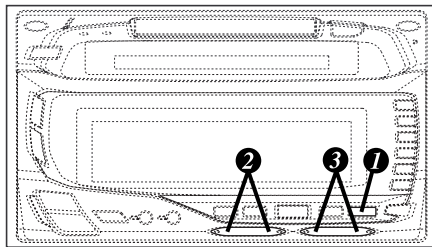


テキスト・スクロールの設定で「オート」を選択している場合は、SCRL スイッチの操作に関係なく常にスクロール表示を行います。(「テキスト・スクロールの設定」55ページ参照。)

文字の種類によっては、本機で文字を正確に表示できない場合もあります。自動でテキストのスクロールを行う場合もあります。

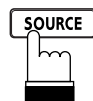


# CD チェンジャー (オプション)の 操作



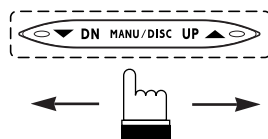
当社の CD チェンジャーが接続されている場合は、本機から CD チェンジャーを操作できます。

- 1** SOURCE スイッチを押して、CD チェンジャー・モードにします。押すごとにモードが切りかわります。



→ TUNER → MD → CD → CDチェンジャー  
( CD チェンジャー接続時のみ )

- 2** DN スイッチまたは UP スイッチを押して、CD チェンジャーにセットされているディスクを選択します。選択されたディスク No. が表示されます。



ファンクション・スイッチを利用するとダイレクトにディスクを選択することができます。( 8 ~ 9 ページ参照 )

ディスクNo. 1 ←→ 2 ←→ 6 ←→ 11 ←→ 12

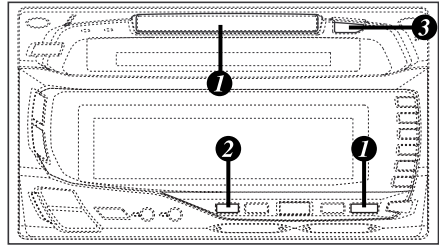
- 3** ⏪ DN スイッチまたは UP ⏩ スイッチを軽く押して、曲の番号 (トラック No.) を指定します。



ファンクション・スイッチを利用すれば「RPT」「M.I.X.」等の機能をお使いになれます。詳しくは、ファンクション・スイッチの使い方 8 ~ 9 ページをご覧ください。

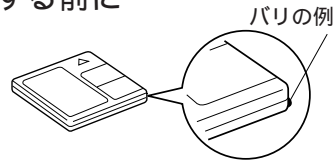


# 演奏する



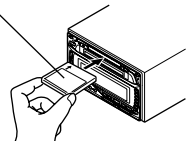
## ミニディスクを挿入する前に

ミニディスクの外側を指で触って「バリ」が無いことを確認してから挿入してください。もし「バリ」があったときは、取り除いてから挿入してください。「バリ」を付けたまま挿入しますと動作不良や故障の原因になる場合があります。

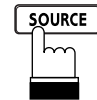


- 1** ミニディスクを挿入すると演奏が始まります。

ミニディスクは必ずラベル面を上にして矢印の方向に挿入してください。



すでにミニディスクが入っているときは SOURCE スイッチを押して、MD モードにします。  
押すごとにモードが切りかわります。



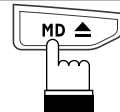
→ TUNER → MD → CD → MDチェンジャー ( MD チェンジャー接続時のみ )

- 2** 演奏を中止するときは、▶/|| スイッチを押します。  
再度 ▶/|| スイッチを押すと演奏が始まります。



MD II T01

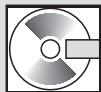
- 3** ミニディスクを取り出すときは、MD ▲ スイッチを押します。



EJECT

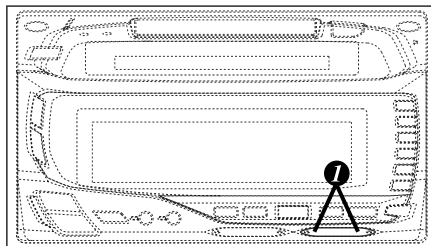
### Memo

挿入できるミニディスクは一枚だけです。  
外側に付いたホコリやごみを落としてから挿入してください。  
重ね貼りしたラベル、はがれかかったラベルが付いたものは使わないでください。  
電源が OFF の状態でミニディスクを挿入しないでください。このとき無理に押し込むと故障の原因となります。  
ミニディスクが挿入口に引き込まれようとしているときは、ミニディスクを引き出さないでください。



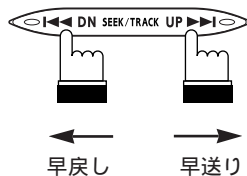
曲の早送り / 早戻しをする  
曲の頭出しをする

## 曲の早送り / 早戻しをする

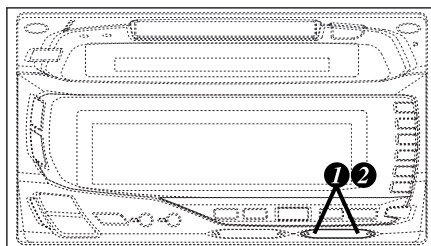


**1** ◀◀ DN スイッチまたは UP ▶▶ スイッチを押し続けます。

聴きたいところで手を離すと、そこから演奏が始まります。



## 曲の頭出しをする (ミュージック・センサー)



**1** ◀◀ DN スイッチを軽く押します。  
今、演奏されている曲の頭から演奏されます。  
聴きたい曲がさらに前にあるときは、この操作を繰り返します。

演奏中の曲の頭出しをする場合



**2** UP ▶▶ スイッチを軽く押します。  
次の曲の頭から演奏されます。聴きたい曲がさらに後ろにあるときは、この操作を繰り返します。

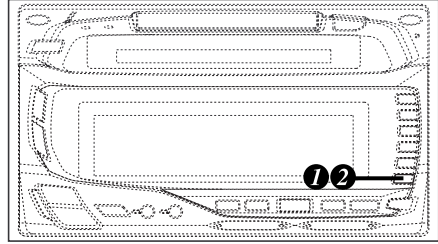
次の曲の頭出しをする場合



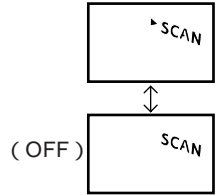
曲の初め（イントロ）だけを聴く  
繰り返し聴く



# 曲の初め（イントロ） だけを聴く SCAN （スキャン）



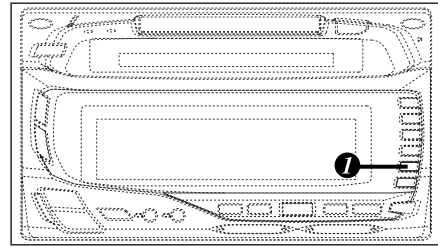
- 1** (M 6) (SCAN) スイッチを押します。  
次の曲から順に、曲の初め（イントロ）だけが約 10 秒間ずつ演奏されます。



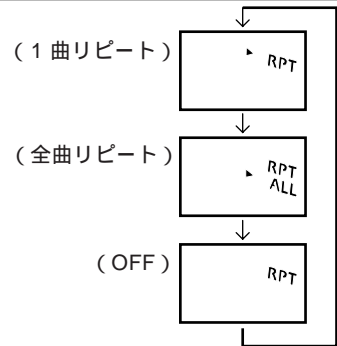
- 2** 聴きたい曲が見つかったら、SCAN スイッチを押して解除します。  
演奏中の曲から、通常の演奏に戻ります。



# 繰り返し聴く RPT （リピート演奏）



- 1** 聴きたい曲が演奏されているときに (M 5) (RPT) スイッチを押します。  
選んだ曲を繰り返し演奏します。  
解除するときは、再度 RPT スイッチを押します。

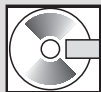


MD チェンジャー・モード時



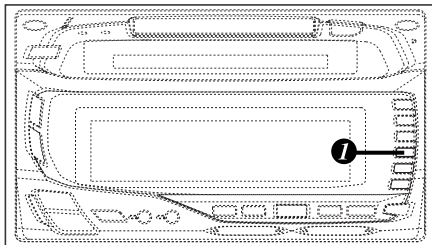
MD チェンジャー（RPT ALL 機能を持つ製品）を接続したときは、ディスク全曲の繰り返し演奏（全曲リピート）ができます。

MD を聴く



# 曲順を変えて聴く M.I.X.

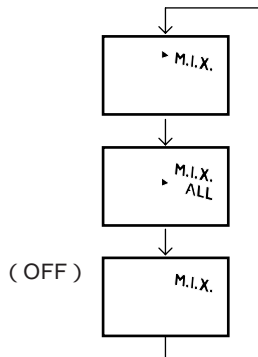
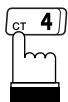
(ミュージック・イン・クロスプレイ)



1

**[CT 4]** (M.I.X.) スイッチを押します。

ミニディスク中の曲が、順不同に演奏されます。  
解除するには、再度 M.I.X. スイッチを押します。



MD チェンジャー・モード時

### Memo

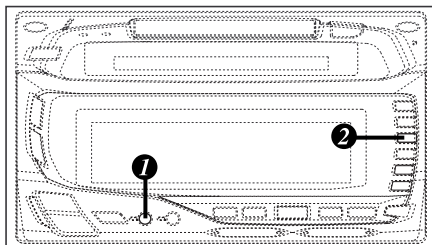
M.I.X.演奏のときは、1 曲リピートはできません。

本機内蔵の MD では、全曲の演奏が終わると、別の順序で演奏されます。  
チェンジャー (M.I.X. ALL 機能を持つ製品) と接続したときは、M.I.X.  
の次にくる表示が ALL になります。これは全てのディスクの曲が順不同  
に演奏されます。

チェンジャーでは、M.I.X.演奏中のディスク全曲を終了すると、次のデ  
ィスクに移り、さらに M.I.X.演奏を続けます。



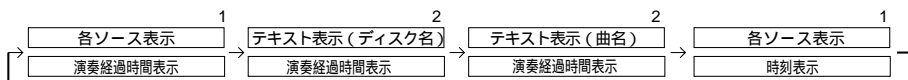
# テキストを表示する / スクロールする



MD にテキスト（ディスク名や曲名などの文字情報）が記憶されている場合、本機のディスプレイにテキストを表示させることができます。

## 1 ミニディスク演奏中に TITLE スイッチを押します。

押すごとに表示モードが切りかわります。



- 1 ... "Mini Disc"または、"6MD Changer"と表示します。
- 2 ... テキストが入っていない場合は "No Text" と表示します。

## 2 テキスト表示が長い（16桁を越える）場合は、（SCRL）スイッチを押します。（テキスト・スクロールの設定が「マニュアル」モード時のみ）

テキストを1桁ずつスクロール表示させます。  
スクロール表示後、通常モードに戻ります。  
スクロールの途中で解除するには、再度 SCRL スイッチを押します。



### Memo

テキスト・スクロールの設定で「オート」を選択している場合は、SCRL スイッチの操作に関係なく常にスクロール表示を行います。（「テキスト・スクロールの設定」55ページ参照。）

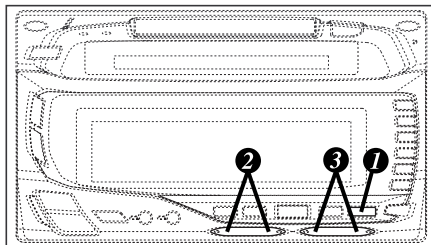
録音 / テキスト入力した機器によっては、本機で文字を正確に表示できない場合もあります。

ディスク名や曲名が記録されていない場合のテキスト表示は、"No Text" と表示します。

自動でタイトルのスクロールを行う場合もあります。

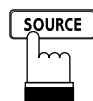


# MD チェンジャー (オプション)の 操作



当社の MD チェンジャーが接続されている場合は、本機から MD チェンジャーを操作できます。

- 1** SOURCE スイッチを押して、MD チェンジャー・モードにします。  
押すごとにモードが切りかわります。



→ TUNER → MD → CD → MDチェンジャー  
( MD チェンジャー接続時のみ )

- 2** DN スイッチまたは UP スイッチを押して、MD チェンジャーにセットされているディスクを選択します。  
選択されたディスク No.が表示されます。  
ファンクション・スイッチを利用するとダイレクトにディスクを選択することができます。  
( 8 ~ 9 ページ参照 )



D03 ▶ T01

- 3** ◀◀ DN スイッチまたは UP ▶▶ スイッチを軽く押して、曲の番号 (トラック No.) を指定します。  
演奏が始まります。



D03 ▶ T01  
ディスク No. トラック No.

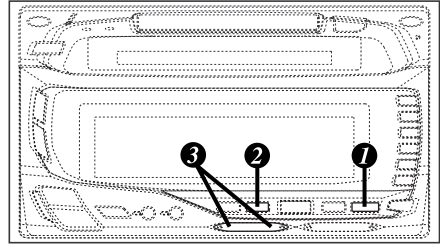


ファンクション・スイッチを利用すれば「RPT」「M.I.X.」等の機能をお使いになれます。詳しくは、ファンクション・スイッチの使い方 8 ~ 9 ページをご覧ください。





# 周波数で放送局を選ぶ (マニュアル)

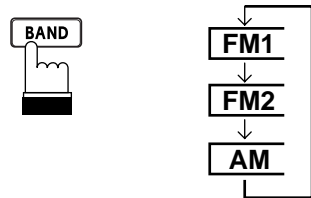


- 1** SOURCE スイッチを押して TUNER (チューナー) モードにします。  
押すごとにモードが切りかわります。

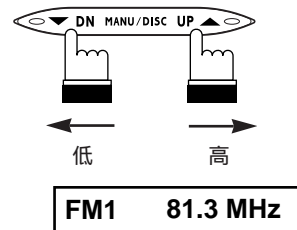


→ TUNER → MD → CD → MDチェンジャー ( MD チェンジャー接続時のみ )

- 2** BAND (バンド) スイッチを押してバンド (FM1、FM2、AM) を選びます。  
押すごとにバンドが切りかわります。



- 3** ▼ DN スイッチまたは UP ▲ スイッチを押します。  
押すごとに 1 段階ずつ周波数が変わります。



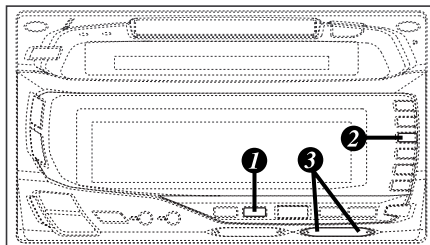
ラジオを聴く

**Memo** ディスプレイに ST インジケーターが点灯しているときは、ステレオ放送が受信されています。

ST — ST インジケーター



# 自動的に放送局を選ぶ SEEK

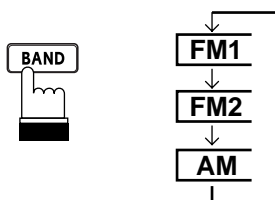


自動で選局する場合は、TUNE（チューニングモード切りかえ）スイッチで、受信感度を設定しておく便利です。

ディスプレイに DX インジケーターが点灯していれば受信感度は DX（ディスタンス）モードです。消えていればローカルモードです。

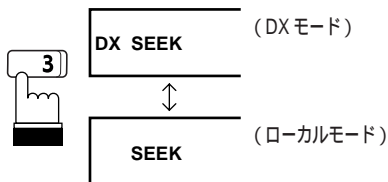
## 1 BAND スイッチを押してバンドを選びます。

押すごとにバンドが切りかわります。



## 2 ファンクション・モードが「ON」のときに、 (TUNE) スイッチを押します。

初期設定は DX モードになっています。



...「ファンクション・スイッチの使い方」(8～9ページを参照してください。)

## 3 DN スイッチまたは UP スイッチを押します。

押すごとに自動で次の放送局を探し始めます。



**FM1 81.3 MHz**



受信感度には次の 2 種類があります。

最初に電源を ON にしたときは、DX モードになっています。

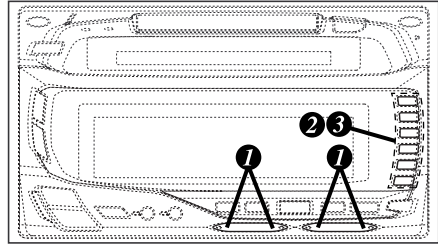
DX（ディスタンス）モード ...電波の強弱にかかわらず、受信可能な放送局がすべて受信されます。

ローカルモード.....電波の強い放送局だけが受信されます。

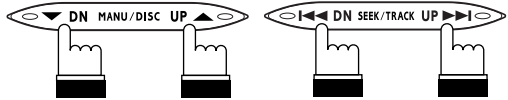


# 放送局を記憶する

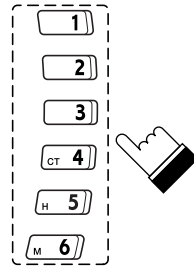
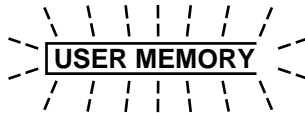
(プリセット・メモリー)



**1** 25、26 ページを参照し、記憶させたい放送局に周波数を合わせます。

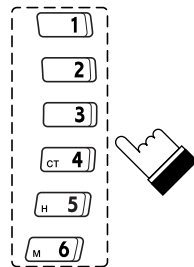


**2** プリセット・スイッチ ( **1** ) ~ ( **6** ) のうち1つ) を 2 秒以上押します。  
ディスプレイの上段の「USER MEMORY」が点滅します。



**3** 点滅している間 ( 約 5 秒以内 ) に記憶させたいプリセット・スイッチを押します。

- ・放送局が記憶されると、点滅から点灯に変わります。
- ・さらに記憶させるときは、手順 1 ~ 3 を繰り返します。



**Memo**

プリセットの受け付けは、ファンクション・モードが「OFF」の時です。詳しくは「ファンクション・スイッチの使いかた」( 8 ~ 9 ページ ) を参照してください。

放送局は 24 局まで記憶できます。

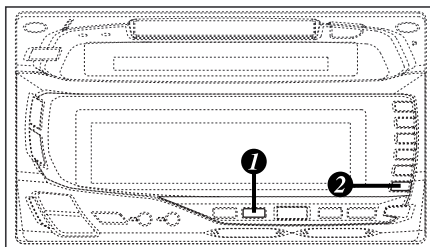
FM1 ... 6 局、FM2 ... 6 局、AM ... 6 局、FM + AM ... 6 局 ( D.A.P. )  
すでに記憶されているスイッチに記憶させると、後から記憶させた放送局が有効になります。

記憶された放送局は、バッテリー電源コードをはずさないがぎり記憶されています。

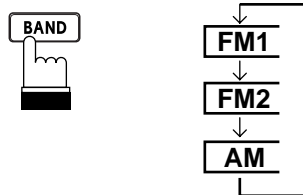


# 自動的に放送局を記憶する

A.ME (オート・メモリー)



**1** BAND スイッチを押して受信したいバンドを表示させます。



**2** ファンクション・モードが「ON」のときに、**[M 6]** (A.ME) スイッチを押します。

放送局を探し始め、電波の強い順に 6 つの放送局が自動的に受信されてプリセット・スイッチ ( **[1]** ~ **[6]** ) に記憶されます。記憶が終わるとプリセット・スイッチの **[1]** に記憶されている放送局が受信されます。



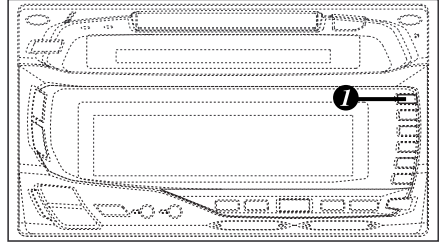
...「ファンクション・スイッチの使い方」( 8 ~ 9 ページを参照してください。)

放送局を 1 つも受信できなかったときは、自動記憶の操作の直前に受信していた放送局が受信されます。



# FM/AM 放送局を合 わせて記憶する

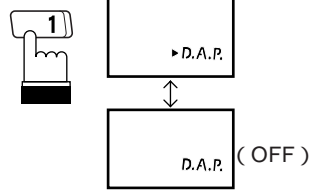
D.A.P. (ダイレクト・アクセス・メモリー・プリセット)



FM 放送局と AM 放送局を合わせて 6 局記憶できます。

**1** ファンクション・モードが「ON」のときに、 (D.A.P.) スイッチを押します。

解除するには、再度 D.A.P. スイッチを押します。




...「ファンクション・スイッチの使い方」(8 ~ 9 ページを参照してください。)

**2** 放送局を選択して記憶させます。


放送局の選択・記憶方法は「放送局を記憶する(プリセット・メモリー)」または「自動的に放送局を記憶する(オート・メモリー)」(27、28 ページ)を参照してください。

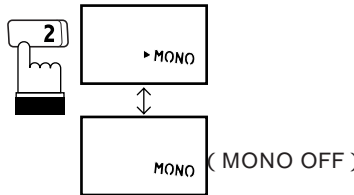
## ステレオ放送が聴きにくいときは

モノラル受信に切りかえると、聴きやすくなります。

ファンクション・モードが「ON」のときに、 (MONO) スイッチを押します。

ST インジケーターが消えモノラル受信に切りかわります。

ステレオ受信に戻すときは、再度  (MONO) スイッチを押します。

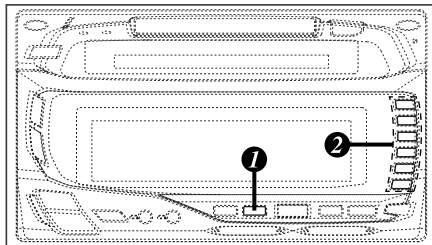


...「ファンクション・スイッチの使い方」(8 ~ 9 ページを参照してください。)

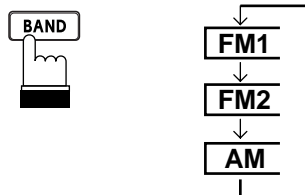


記憶した放送局を受信する

# 記憶した放送局を受信する



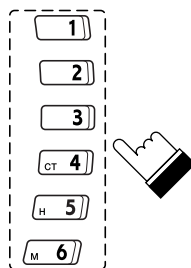
- 1** BAND スイッチを押してバンドを選びます。  
押すごとにバンドが切りかわります。



D.A.P.機能を使って記憶させたときは、 (D.A.P.) スイッチを押します。  
「FM/AM 放送局を合わせて記憶する」(29 ページ)を参照してください。

▶ D.A.P.

- 2** 記憶させた放送局のプリセット・スイッチ ( ~ のうち1つ ) を押します。  
選択した放送局が受信されます。



**FM1 P2 81.3 MHz**

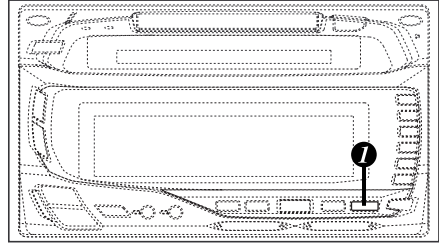


プリセットの受け付けは、ファンクション・モードが「OFF」の時です。  
詳しくは「ファンクション・スイッチの使いかた」(8 ~ 9 ページ)を参照してください。



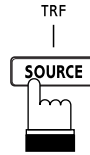
# 道路交通情報を聴く TRF

(トラフィック・インフォメーション)



**1** TRF (トラフィック・インフォメーション) スイッチを 2 秒以上押します。

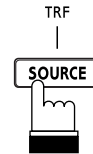
TRF モードになり、AM 放送の 1620kHz、または 1629kHz の交通情報を受信します。



**1620 kHz**

1620kHz/1629kHz を切りかえるには、  
**◀◀ DN** スイッチまたは  
**UP ▶▶** スイッチを押します。

**2** TRF モードを解除するには、再度 TRF スイッチを押します。

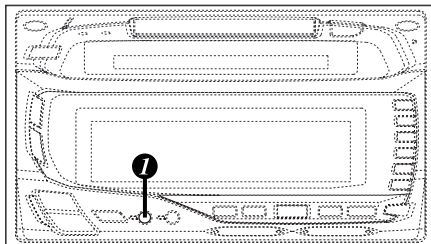


MD、CD、ラジオのいずれかを聴いていても、交通情報を受信できます。



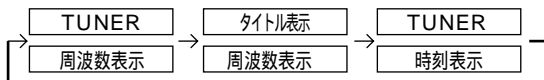
タイトルを表示する

## タイトルを表示する



タイトルが記憶されていれば、ディスプレイに放送局のタイトルを表示することができます。タイトル入力については、「タイトルをつける」(46 ページ)を参照してください。

- 1 TUNER (チューナー) モード時に  
TITLE スイッチを押します。  
押すごとに表示モードが切りかわります。

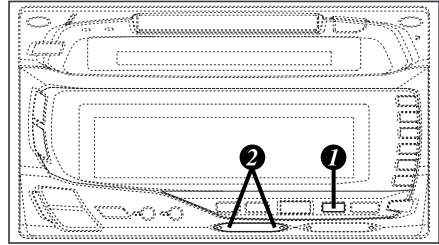


.....タイトルが入力されていない場合は"NO TITLE"と表示します。





# イコライザー特性 (メーカー設定)を選ぶ



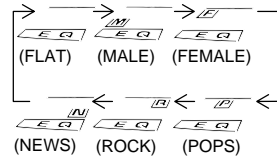
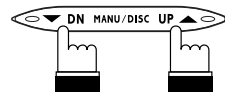
**1** DSPスイッチを押してEQモードを選びます。  
押すごとにモードが切りかわります。



→ EQ → SUR → LPS → OFF →

**2** 1の操作の後 10 秒間の間に DN スイッチまたはUP スイッチを押します。

- ・押すごとにイコライザー・モード・インジケーターが切りかわり、希望するイコライザー特性を選ぶことができます。
- ・イコライザー・モードは、音楽ジャンルに合わせてあらかじめ設定されている 6 種類 (FLAT、MALE、FEMALE、POPS、ROCK、NEWS) の中から選べます。



## イコライザー (メーカー設定) パターンについて

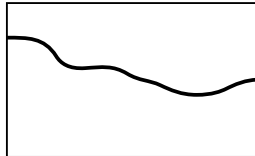
パターン1 FLAT

フラットな周波数



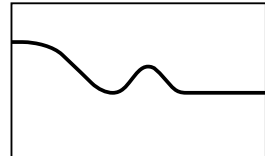
パターン2 MALE(男性ボーカル)

高域をやや強調する



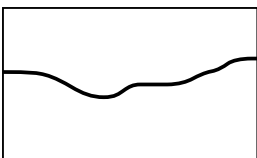
パターン3 FEMALE(女性ボーカル)

高域をやや抑える



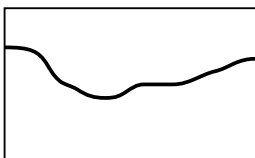
パターン4 POPS

中域中心に全体を強調する



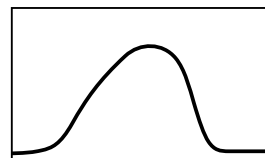
パターン5 ROCK

低域および高域を強調する



パターン6 NEWS

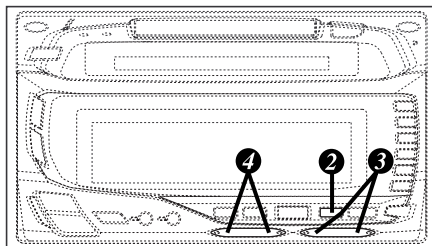
中域だけを強調する



実際の表示とは異なります。



# 自分でイコライザー・カーブを作る



**1** 調整したいイコライザー特性を選びます。

「イコライザー特性（メーカー設定）を選ぶ」（33 ページ）を参照してください。

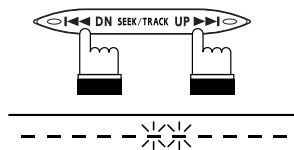
例（FLAT）の場合



**2** 1 の操作の後 10 秒間の間に DSP スイッチを 2 秒以上押します。



**3** 2 の操作の後 10 秒間の間に、◀◀ DN スイッチまたは UP ▶▶ スイッチを押して、調整したい周波数帯を点滅させます。



**4** 点滅している間に、DN スイッチまたは UP スイッチを押して、好みのレベルに調整します。

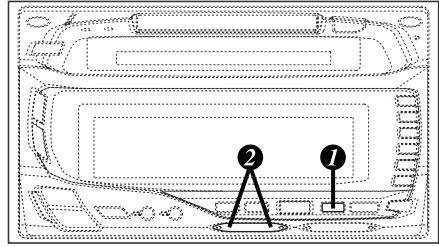
さらに別の周波数帯を調整するには上記手順を繰り返し調整をおこないます。



DSP スイッチを押した後、10 秒の間は、◀◀ DN スイッチまたは UP ▶▶ スイッチ、▼ DN スイッチまたは UP ▲ スイッチでのディスク操作（早送りやディスク選択等）は行えません。



# サラウンド・モード (メーカー設定)を選ぶ



本機は、DSP (デジタル・シグナル・プロセッシング) を使って様々な音響空間を作り出すことができます。色々な音楽ソースに応じて 6 種類のサラウンド・モードを選ぶことができます。

**1** DSP スイッチを押して、SUR モードを選びます。

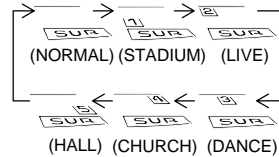
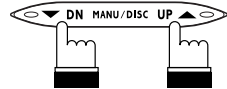
押すごとにモードが切りかわります。



→ EQ → SUR → LPS → OFF →

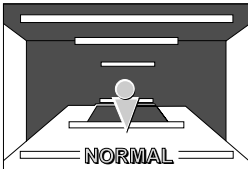
**2** 1 の操作の後 10 秒間の間に、DN スイッチまたは UP スイッチを押します。

- ・押すごとにサラウンド・モード・インジケータが切りかわり、希望するモードが選択できます。
- ・サラウンド・モードは、あらかじめ設定されている 6 種類 (NORMAL、STADIUM、LIVE、DANCE、CHURCH、HALL) の中から選べます。



## NORMAL (FLAT)

サラウンド・モードは働きません。



## STADIUM

屋外スタジアムの音場を作り出します。



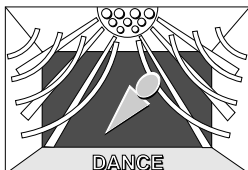
## LIVE

少ない反響で小さなコンサートホールの音場を作り出します。



## DANCE

適度な反響でダンスホールの音場を作り出します。



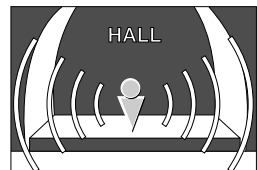
## CHURCH

天井が高く反響の多い大きな教会の音場を作り出します。



## HALL

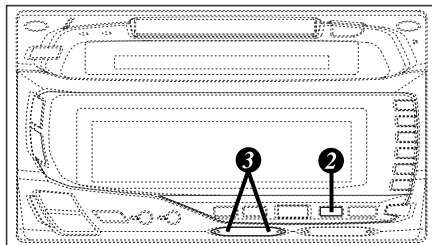
音の反響によって大きなコンサートホールの音場を作り出します。



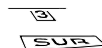
実際の表示とは異なります。



## サラウンド・レベルの調整



- 1** 調整したいサラウンド・モード (NORMAL 以外) を選びます。  
「サラウンド・モード(メーカー設定)を選ぶ」 (35 ページ) を参照してください。



- 2** 1 の操作の後 10 秒間の間に DSP スイッチを 2 秒以上押します。



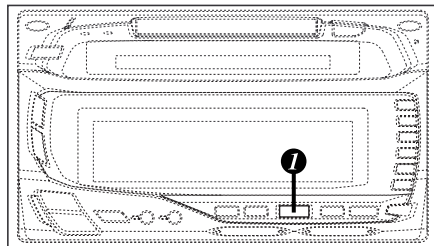
- 3** 2 の操作の後 10 秒間の間に、DN スイッチまたは UP スイッチを押して、お好みのサラウンド・レベルに調整します。

サラウンド・レベルは、- 4 ~ + 4 までの段階に調整することができます。



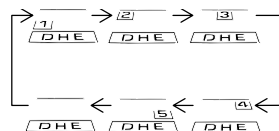
DSP スイッチを押した後、10 秒間の間は、◀◀◀ DN スイッチまたは UP ▶▶▶ スイッチ、▼ DN スイッチまたは UP▲ スイッチでのディスク操作 (早送りやディスク選択等) は行えません。

# DHE モードを 選ぶ



DHE (Digital Harmonics Enhancer) は、各楽器やボーカルの音を際立たせ、走行騒音の多い車内に於いても音楽をクリアに再生することができます。詳しくは、「DHE について」(74 ページ) を参照してください。

- 1** DHE スイッチを押します。  
 押すごとに DHE1、DHE2、DHE3、DHE4、  
 DHE5、OFF の順に切りかわります。  
 お好みのモードを選んでください。



## Beat MAX (DHE1)

特にリズム系 BASS を強調し、ノリの良い低音を再現します。

## Lyric MAX (DHE2)

女性ボーカルを特に際立たせて艶やかに再現します。

## Beat MIX (DHE3)

車室内においてバランスのとれたノリの良い低音を再現します。

## Lyric MIX (DHE4)

車室内において女性ボーカルをよりクリアに再現します。

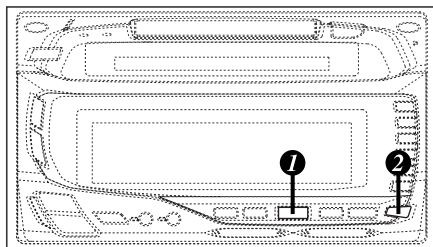
## Phase MIX (DHE5)

どんなジャンルを聴いても、バランスのとれた明瞭度の高い音楽を再現します。



DHE スイッチを押した後、10 秒間の間は、**◀◀DN** スイッチまたは **UP ▶▶** スイッチ、**▼DN** スイッチまたは **UP▲** スイッチでのディスク操作 (早送りやディスク選択等) は行えません。

# DHE パワーモード



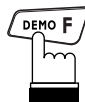
DHE の効果を最大限に引き出し、より好みの音質に設定することができます。

- 1** DHE スイッチを押して、音質を変えたい DHE モードを選びます。



- 2** 1 の操作の後 10 秒間の間に、F スイッチを押します。

押すごとに DHE パワーモードの ON/OFF を切りかえます。  
「ON」に設定すると DHE の効果が向上します。



(MDA-W770J) (MDA-W750J)

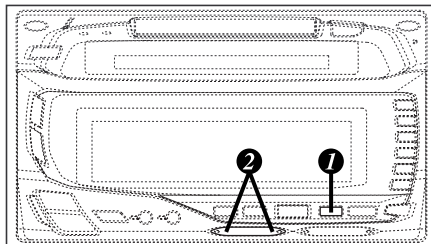
## パワーモード効果

より力強い低音とクリアなサウンドを再現します。



# リスニング・ポジションを合わせる L.P.S.

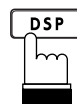
(リスニング・ポジション・セクター)



音像を聴きやすい位置に移動でき、どの座席からも自然な広がりのあるサウンドが楽しめます。

**1** DSP スイッチを押して L.P.S. モードを選びます。

押すごとにモードが切りかわります。



→ EQ → SUR → LPS → OFF →

**2** 1 の操作の後 10 秒間の間に、DN スイッチまたは UP スイッチを押します。

押すごとに車の座席が切りかわります。  
お好みの位置を選びます。



(全席)      (前席)      (前左席)      (前右席)      (OFF)



DSP スイッチを押した後、10 秒間の間は、◀◀ DN スイッチまたは UP ▶▶ スイッチ、▼ DN スイッチまたは UP ▲ スイッチでのディスク操作 (早送りやディスク選択) は行えません。



## FM 文字多重放送について (MDA-W770Jのみ)

# FM 文字多重放送について

FM 文字多重放送とはFM 放送電波を使って文字を送る放送です。

放送局からは、音声とともに文字情報が送られてきます。

FM 放送中の曲名、演奏者の情報やニュース、天気予報、交通情報などを知ることができます。

### 番組について

1つの放送局からは、同時に複数の番組が放送されています。

番組の数や内容は放送局により異なります。

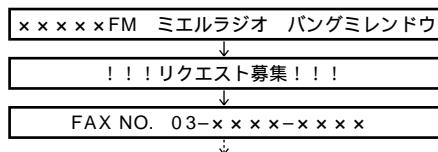
番組はメニュー画面で選ぶことができます。



番組は大きく2つに分けられます。

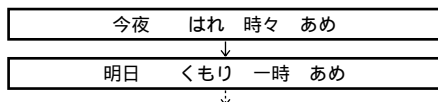
#### 1) 連動情報番組 (番組情報)

FM 音声放送と連動した番組で、放送中の曲名やリクエストの受付電話番号など音声放送に関連した内容です。画面は音声放送に合わせ、放送局側で内容を変更します。



#### 2) 独立情報番組 (ニュース、スポーツ、交通情報など)

FM 音声放送とは関連のない独立した番組です。天気情報やニュースなど、さまざまな情報を表示します。



## 警告

運転中は操作をしない・表示を見ない

運転者は走行中に操作をしたり表示を見たりしないでください。走行中に操作をすると前方不注意となり事故の原因となります。必ず安全な場所に車を停車させてください。

### Memo

受信状態の悪い場所では、データを受信できない場合があります。

データの表示中に受信状態が悪くなったとき、文字情報を正しく表示しない場合があります。

文字情報を表示するまでに時間がかかる場合があります。また、表示されるまでの時間は、受信状態やデータの量により異なります。

FM 多重モード中は、他のモード (CD など) の操作はできません。

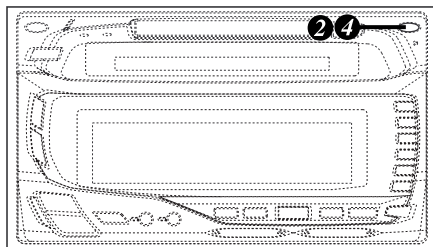
データ受信中は、「現在データ受信中です」と表示されます。また、なんらかの理由で受信できなかった場合は「多重放送を受信できません」または「サービスエリア外です」と表示します。

FM 多重モード中は常に情報の蓄積を行っています。そのため、オート・アンテナ車はアンテナが常に伸びた状態になります。アンテナを縮めたい場合は、FM 多重モードを終了させてください。





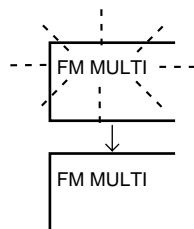
# FM 多重モードを 選ぶ



**1** TUNER (FM) モードで、FM 多重を放送している放送局を受信します。

**2** FM M. (FM マルチ) スイッチを押します。

- ・ FM 多重モードとなり FM MULTI インジケーターが点滅して情報の蓄積を開始します。
- ・ 情報を蓄積すると FM MULTI インジケーターが点滅から点灯に切りかわります。
- ・ データの受信ができない場合は「多重放送を受信できません」または「サービスエリア外です」と表示されます。



**3** ディスプレイに文字情報 (番組情報など) が表示されます。情報は全て本機上段のディスプレイに表示されます。



**4** FM 多重モードを終了させるには、FM M. スイッチを 2 秒以上押します。



**Memo**

次ページの情報が蓄積されていない場合は、前ページまでのスクロールを行います。(番組情報の場合のみ)

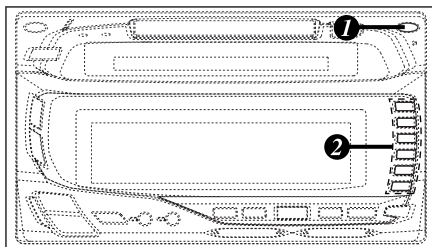
番組情報 (番組連動) の場合、自動的に情報 (表示) が切りかわります。番組情報 (番組連動) の場合、最新の 10 ページ分はメモリーしていますので、◀◀ DN スイッチまたは UP ▶▶ スイッチで、他のページを見ることができます。

SOURCE スイッチを押して他ソース (CD など) を選択しても FM 多重モードは、終了します。この場合は、FM 多重の情報を受信した状態を継続しているので、次に FM 多重モードにしたときはすぐに情報を表示します。



# 番組メニューを選ぶ (MDA-W770Jのみ)

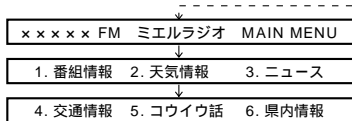
## 番組メニューを選ぶ



**1** FM 多重モード中に FM M.スイッチを押します。

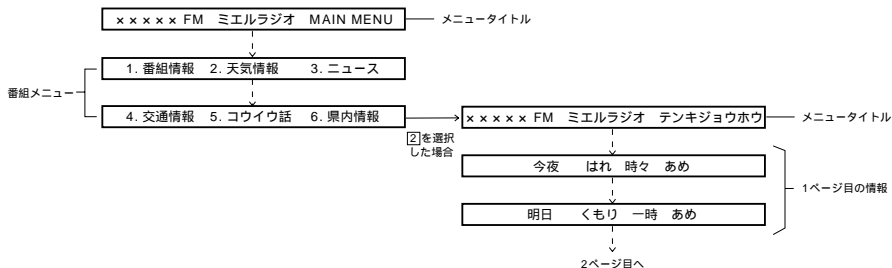
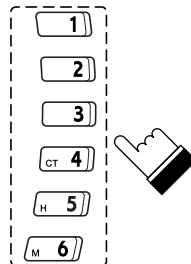
番組メニューが表示されます。

- ・オートスクロール設定が「ON」の場合、自動的に行のスクロールを行います。「スクロールの設定」(44 ページ)を参照してください。
- ・オートスクロール設定が「OFF」の場合、DN スイッチまたはUP スイッチで行の切りかえを行います。



**2** 番組メニュー表示中にプリセット・スイッチ ( **1** ) ~ ( **6** ) のいずれかを押して、番組メニュー番号を選択します。

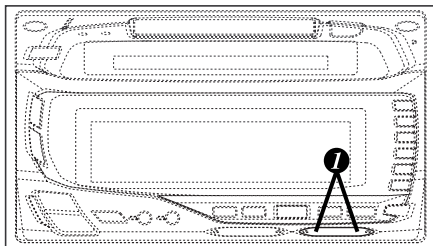
サブメニューがある場合は、再度プリセット・スイッチを押して選択していきます。選択した番組の 1 ページ目が表示されます。



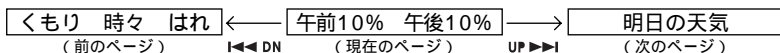
**Memo** 番組メニューは放送局によりメニュー数や内容が異なります。



## ページの切りかえ

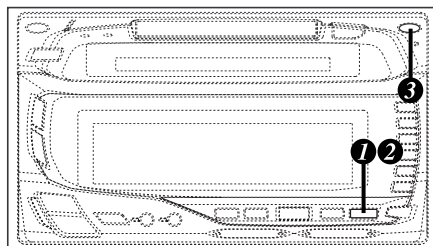


- 1** ◀◀ DN スイッチまたは UP ▶▶ スイッチを押します。  
 押すごとにページが切りかわります。



**Memo** 次ページの情報が蓄積されていない場合は、次ページの切りかえはできません。番組によって自動で切りかわる場合があります。「スクロールの設定」が「AUTO」に設定されている場合は、自動的に次ページに切りかわります。「スクロールの設定」(44ページ)を参照してください。

## 文字情報を見ながらディスク演奏を聴く



本機では、ディスクの演奏を聴きながら、文字情報を見ることができます。

- 1** FM 多重モード時に SOURCE スイッチを押して FM 多重モードを一時的にキャンセルします。



- 2** SOURCE スイッチを押して聴きたいモード (CD/MD など) を選び、演奏させます。



- 3** FM M.スイッチを押して FM 多重モードに戻します。これでディスクの演奏を聴きながら文字情報を見ることができます。

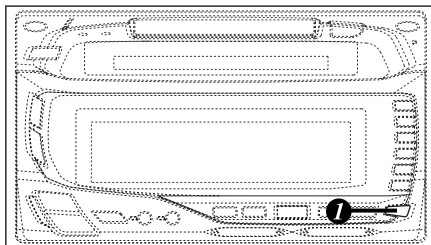


**Memo** FM 多重モード中は、ディスク等の操作は行えません。



## スクロールの設定 (MDA-W770Jのみ)

# スクロールの設定



スクロールを「オート」に設定すると文字情報を次々にスクロールさせることができます。

**1** FM 多重モード中に F スイッチを押します。

押すごとにスクロールの「オート」と「マニュアル」を切りかえます。



AUTO (オート) : 文字情報を自動的にスクロールさせます。

MANUAL (マニュアル) : スクロールは DN スイッチまたは UP スイッチで行います。

### スクロールが「オート」の場合

「×××× FM ミエルラジオ テンキジョウホウ  
 今日 はれ時々あめ  
 明日 くもり一時あめ」という

情報を本機では右記のようにスクロール表示させます。



### Memo

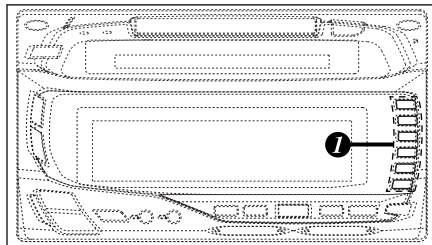
次のページの情報が入らない場合は、スクロールはストップします。ただし番組連動の場合は、前情報までのスクロールを行ないます。

番組情報 (番組連動) の場合は、スクロールの設定に関係なく常にスクロール表示します。

スクロールの設定が「AUTO」の場合でも、行の切りかえ ( DN スイッチまたは UP スイッチ) やページ切りかえ ( ◀◀ DN スイッチまたは UP ▶▶ スイッチ) の操作は行えます。

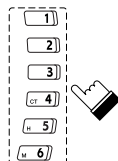


## 文字情報の記憶



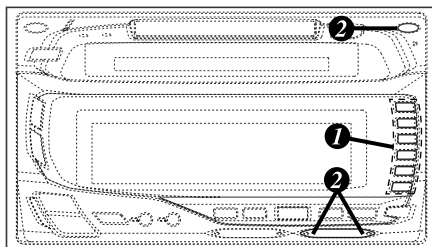
文字情報を本機のプリセット・スイッチ (1) ~ (6) まで計 6 つ) に記憶させることができます。

- 1** 記憶させたい番組を表示させた後、  
 プリセット・スイッチ (1) ~ (6)  
 のうち 1 つ) を 2 秒以上押します。

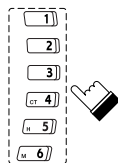


記憶できるのは 1 ページ分の情報です。

## 記憶した情報を読み出す



- 1** 記憶したプリセット・スイッチ (1) ~ (6) のうち 1 つ) を押します。



- 2** 番組表示に戻すには、FM M.  
 スイッチまたは、◀◀ DN /  
 UP ▶▶ スイッチを押して  
 ください。



または

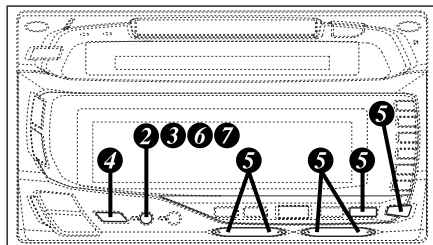


情報は 1 ページ分 (3 行) 記憶されています。



# タイトルをつける TITLE

(タイトル・メモリー)



お好みの「ラジオ放送局」や「CD」にタイトルをつけることができます。  
MDA-W750Jでは「カタカナ」「アルファベット」「数字/記号」の入力が可能です。  
MDA-W770Jでは「ひらがな」「カタカナ」「アルファベット」「数字/記号」「漢字」の入力が可能です。ただしCDチェンジャー内のディスクには「ひらがな」と「漢字」の入力ができません。

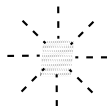
**1** タイトルを入力させたいCDを演奏させます。または、ラジオ放送局を選びます。

**2** TITLEスイッチを押してタイトル表示モードを選びます。

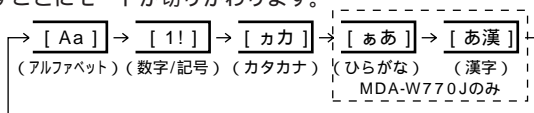
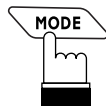
詳しくは、「タイトル/テキストを表示する」(17ページ)または、「タイトルを表示する」(32ページ)を参照してください。



**3** TITLEスイッチを2秒以上押します。ディスプレイの1桁目が点滅し、入力可能となります。

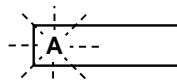
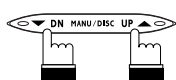


**4** 点滅している間に、MODEスイッチを押します。押すごとにモードが切りかわります。



**5** アルファベット/数字/記号/カタカナ/ひらがな(MDA-W770Jのみ)入力

① DNスイッチまたはUPスイッチを押して、入力したい文字記号を選びます。



② UP >>>スイッチを押して、1桁目を確定させます。<<< DNスイッチを押すと、前の桁に戻ります。

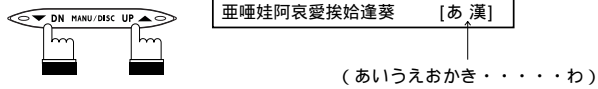




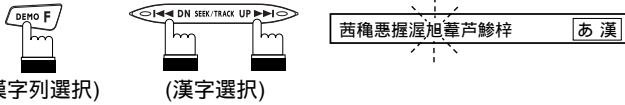
## タイトルをつける

### 漢字入力 (MDA-W770Jのみ)

- ① DN スイッチまたは UP スイッチを押して入力したい漢字の読み (音読み) を選びます。



- ② ◀◀ DN スイッチまたは UP ▶▶ スイッチを押して入力したい漢字を選びます。漢字列は F スイッチで切りかわります。



- ③ SOURCE スイッチを押して、漢字を選択します。



- ④ UP ▶▶ スイッチを押して、1 桁目を確定させます。  
◀◀ DN スイッチを押すと、前の桁に戻ります。



6 4 ~ 5 を繰り返し、16 桁まで入力できます。(CD チェンジャーは 8 桁までの入力となります。)

入力したタイトルを記憶させるには、最後の文字を確定させた後、TITLE スイッチを押します。



7 タイトル表示モードを解除するには、TITLE スイッチを押して表示モードを切りかえます。



#### Memo

ディスプレイに"Full Data"と表示されたときは、メモリーがいっぱいのために、入力できません。新しいタイトルを入力したいときは、他のタイトルを消した後、入力します。

タイトル名を消すには (ブランク) を選び、上記操作手順同様に入力します。

本機では、MD にタイトルを入力することはできません。

ラジオ放送局には最大 24 局 (FM/AM 合わせて) まで、タイトルをメモリーできます。

本機内蔵の CD は最大 CD18 枚までタイトルをメモリーできます。

CD チェンジャーの場合は 8 桁までの入力で、機種によってメモリー数が異なります。

記憶した内容は、バッテリー電源コードを外すと消去される場合がありますのでご注意ください。

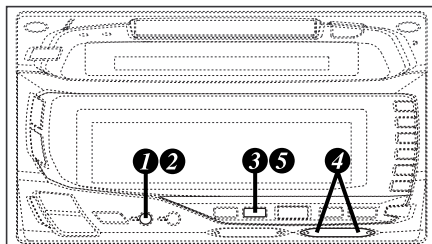
手順 3 ~ 6 の各操作は 10 秒間の間に行ってください。約 10 秒間、操作を行わないと、入力モードが解除されます。



## 記憶したタイトルでCDを検索する

# 記憶したタイトル でCDを検索する

(タイトル・サーチ・メニュー)  
(CDチェンジャーのみ)



記憶したCDタイトルから、聴きたいCDチェンジャー内のディスクを検索できます。

- 1 CDチェンジャー・モード時に、TITLEスイッチを押して、タイトル表示モードを選びます。

詳しくは、「タイトル/テキストを表示する」  
(17ページ)を参照してください。

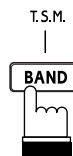


- 2 TITLEスイッチを2秒以上押します。  
ディスプレイの1桁目が点滅します。



- 3 T.S.M. (タイトル・サーチ・メニュー)スイッチを押します。

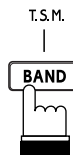
検索モードになり、1枚目のディスクのタイトルが点滅表示します。



- 4 ◀◀DNスイッチまたはUP▶▶スイッチを押して、聴きたいディスクのタイトルを選びます。



- 5 T.S.M.スイッチを押します。  
検索モードが解除され、聴きたいタイトルのディスクを演奏します。

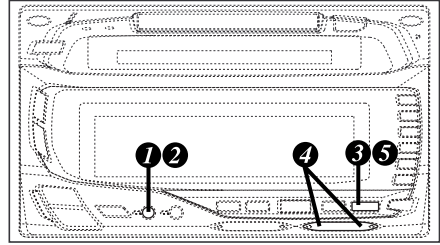






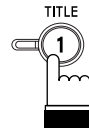
# 記憶したタイトルを消す

(CDチェンジャーのみ)



CDチェンジャーでは、記憶したタイトルを消去することができます。

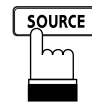
- 1 CDチェンジャー・モード時に、TITLEスイッチを押して、タイトル表示モードを選びます。  
詳しくは、「タイトル/テキストを表示する」(17ページ)を参照してください。



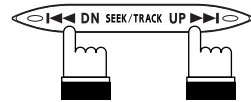
- 2 TITLEスイッチを2秒以上押します。  
ディスプレイの1桁目が点滅します。



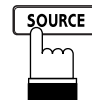
- 3 SOURCEスイッチを3秒以上押します。  
再生中のディスクにかかわらず、メモリーされたタイトルを表示します。



- 4 <<<DNスイッチまたはUP>>>スイッチを押して、消去したいタイトル名を探します。



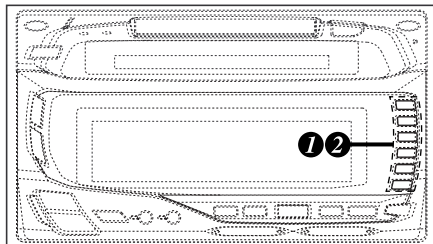
- 5 SOURCEスイッチを3秒以上押します。  
タイトルが消去されます。  
タイトル消去モードを解除するには、TITLEスイッチを2秒以上押してください。





## イコライザー / サラウンド / DHE のカーブを記憶する

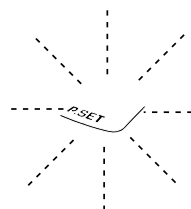
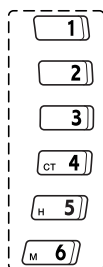
# イコライザー / サラウンド / DHE のカーブを記憶する



メーカー設定および自分で作ったカーブを記憶させることができます。

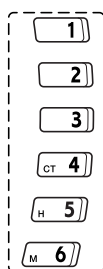
- 1** メーカー設定を選ぶか、または自分でカーブを作った後（33～38ページ参照）、10秒間の間にプリセット・スイッチのいずれか1つを2秒以上押します。

インジケーターが点滅し、10秒間記憶可能状態になります。



- 2** 点滅している間に記憶させたいプリセット・スイッチを押します。

これで選んだカーブが記憶されます。さらに記憶するには上記手順を繰り返します。



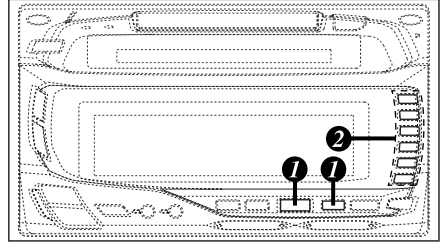
プリセット2に記憶の場合



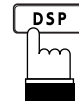
DHE、サラウンド、イコライザーの状態を記憶させる事ができます。



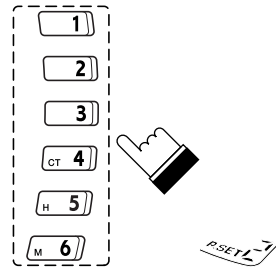
## 記憶したカーブを呼び出す



- 1** DSP スイッチまたは DHE スイッチを押して、イコライザー / サラウンド / DHE のいずれかのモードを選択します。



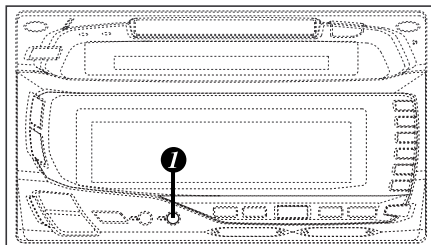
- 2** 1 の操作の後 10 秒間の間に呼び出したい、いずれか 1 つのプリセット・スイッチを押すと好みの特性が得られます。



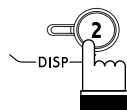
(プリセット 2 を呼び出した場合)



# グラフィック スクリーンを切り かえる



- 1** DISP2 スイッチを押します。  
グラフィック・デザインのパターンの中から  
お好みのパターンを選びます。  
押すごとにグラフィック スクリーンが切り  
かわります。



## MDA-W770J

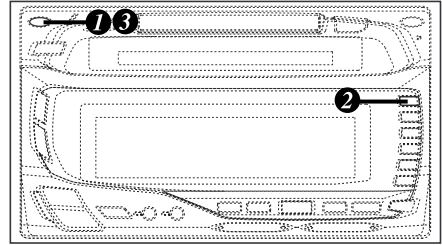
スクリーン	表示内容
SCREEN 1	ノーマル表示
SCREEN 2	ピークホールド表示
SCREEN 3	ピーク上昇表示
SCREEN 4	デュアル表示
SCREEN 5	ミラー表示
SCREEN 6	スクリュー表示
SCREEN 7	モードキャラクター表示
SCREEN 8	EQ パターン表示
SCREEN 9	SCAN 表示 (SCREEN1 から SCREEN7 までを 10 秒ずつ表示)

## MDA-W750J

スクリーン	表示内容
SCREEN 1	ノーマル表示
SCREEN 2	ピークホールド表示
SCREEN 3	ピーク上昇表示
SCREEN 4	デュアル表示
SCREEN 5	ミラー表示
SCREEN 6	クロス表示
SCREEN 7	スクリュー表示
SCREEN 8	ウェーブ表示
SCREEN 9	ドロップ表示
SCREEN 10	モードキャラクター表示
SCREEN 11	EQ パターン表示
SCREEN 12	SCAN 表示 (SCREEN1 から SCREEN10 までを 10 秒ずつ表示)





# サウンドガイド機能



スイッチを押したときに「BEEP」を鳴らして、操作を受けつけた事を伝えます。

**1** INTLZ スイッチを 3 秒以上押します。



**2** プリセット・スイッチ  を押します。ディスプレイに BEEP ON を表示します。再度  を押すと BEEP OFF になり、スイッチを押しても音が出なくなります。



(工場出荷時の設定)

**BEEP ON**

↑  
**BEEP OFF**

**3** 設定が終わったら、INTLZ スイッチを押してください。通常モードに戻ります。

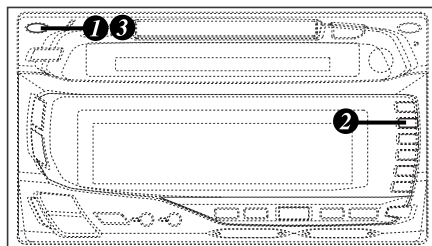


**Memo**

可動ディスプレイの開閉時の警告ブザーは、BEEP の ON、OFF に関係なく音を出します。




# 外部割り込みモードの ON/OFF



Ai 割り込み Box (NVE-K200) と組み合わせて、ナビゲーションでの「音楽 CD 演奏」や TV チューナーでの「テレビ音声」を割り込ませる場合に使用します。詳しくは、NVE-K200 側の説明書を参照してください。

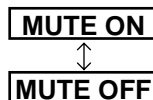
**1** INTLZ スイッチを 3 秒以上押します。



**2** プリセット・スイッチ  (2) を押して、ミュート・オンまたはオフを選択します。



(工場出荷時の設定)



- ミュート・オン： 外部割り込みが入ったときにミュートが起動し、音量操作はできません。
- ミュート・オフ： 割り込みモードのとき、音量操作ができます。

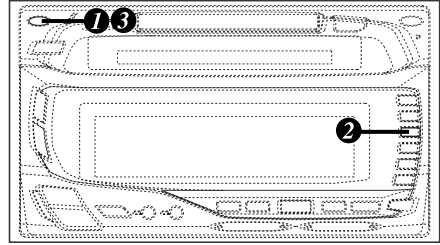
**3** 設定が終わったら INTLZ スイッチを押してください。通常モードに戻ります。



この機能は、対応製品との組み合わせで、INT (音声割り込み) コードが接続されている場合に有効となります。




# テキスト・スクロールの設定



本機内蔵のCD/MDでは、テキスト対応のディスクに記憶されているディスク名や曲名が長い場合（テキストが16桁を超える）に、テキストを1桁ずつスクロール表示させることができます。

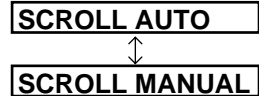
- 1** INTLZ(イニシャライズ)スイッチを3秒以上押します。



- 2** プリセットスイッチ  (SCRL) を押してスクロールのオートまたは、マニュアルを選択します。



(工場出荷時の設定)



SCROLL AUTO (オート) : テキストのスクロール表示を繰り返し行います。

SCROLL MANUAL (マニュアル) : ディスクのローディング完了時やトラックチェンジがあったときなどで、テキストが16桁を超える場合、スクロール表示を行います。

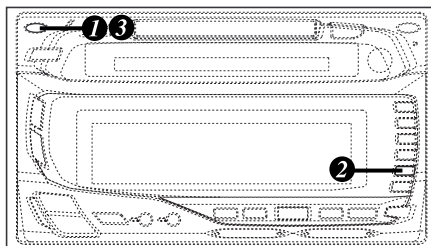
また、SCRL スイッチを押してスクロール表示させることもできます

- 3** 設定が終わったら INTLZ スイッチを押してください。  
通常モードに戻ります。





# ダイバーシティの 対応



ダイバーシティ・アンテナ車の場合 **DIVERSITY ON** にしてください。

走行中の電波に応じて、受信状態の最もよいアンテナを複数のアンテナから自動で選択し、常に安定した受信状態にします。

- 1 INTLZ (イニシャライズ) スイッチを 3 秒以上押します。



- 2 プリセット・スイッチ **[5]** を押します。ディスプレイに DIVERSITY ON または DIVERSITY OFF を表示します。



- 3 設定が終わったら、INTLZ スイッチを押してください。通常モードに戻ります。



**Memo**

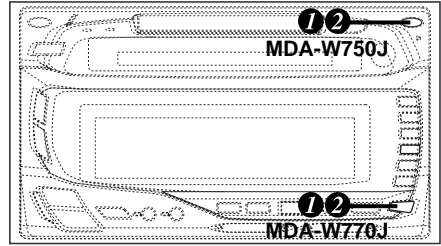
ダイバーシティ・アンテナ以外の車の場合 **DIVERSITY OFF** にしてください。

FM 多重モード時は、ON/OFF に関係なく常に「OFF」の状態になります。(MDA-W770Jのみ)





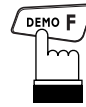
# デモンストレーション機能



本機には、表示演出のみの動作をディスプレイに表示させるデモンストレーション機能が用意されています。

**1** DEMO（デモンストレーション）スイッチを MDA-W770J では 2 秒以上、MDA-W750J では軽く押します。

デモンストレーション・モードになり、表示演出のみの動作を自動的に行います。



2 秒以上

(MDA-W770J)

(MDA-W750J)

MDA-W770J では、デモンストレーション中に DEMO スイッチを 2 秒以上押すと、デモンストレーションの内容が変わります。

(MDA-W770J)

(MDA-W750J)

デモンストレーション1

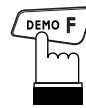
デモンストレーション

デモンストレーション2

OFF

OFF

**2** 解除するには、DEMO スイッチを MDA-W770J では 2 秒以上、MDA-W750J では軽く押します。



2 秒以上

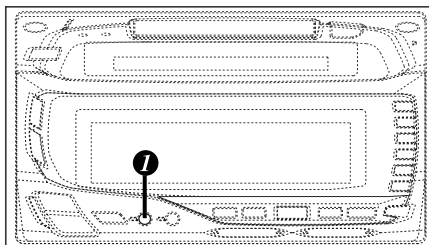
(MDA-W770J)

(MDA-W750J)



時刻を表示する

## 時刻を表示する



1

DISP1 スイッチを押します。  
押すごとにモードが切りかわります。  
時刻表示モードを選んでください。



12:00

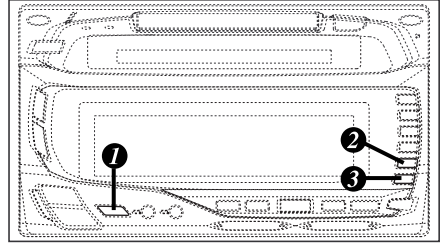


**Memo**

電源が OFF 状態では、DISP1 スイッチを押しても時刻表示はしません。  
エンジン停止中に長時間ご使用になると、バッテリーが過放電となり、  
エンジンの始動ができなくなる恐れがあります。

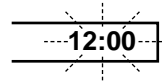


# 時刻を設定する



各手順の操作は 5 秒間の間に行ってください。

- 1** 時刻を表示させます。(58 ページ参照)  
次に CLK ADJ. スイッチを 2 秒以上押します。  
時刻が点滅します。

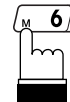


- 2** 点滅中に **[5]** (H) スイッチを押して  
「時」を合わせます。



9 : 35 に合わせる場合

- 3** 点滅中に **[6]** (M) スイッチを押して  
「分」を合わせます。  
「時刻」を合わせてから 5 秒後に時刻が確定されます。



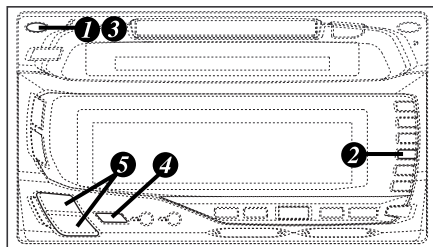
**Memo** 時報に合わせたいときは、「時」設定後に **[4]** (CT スイッチ) を押すと表示が 00 となります。「:30」を超えた表示のときに **[4]** を押すと「時」は繰り上がります。



## サブウーハーレベルを調整する

# サブウーハーレベルを調整する

(サブウーハーと組み合わせた場合)

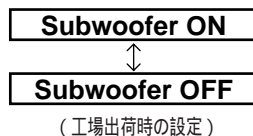
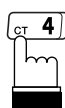


- 1** INTLZ (イニシャライズ) スイッチを 3 秒以上押します。



- 2** プリセット・スイッチ **[4]** を押して、「Subwoofer ON」にします。

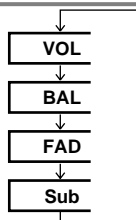
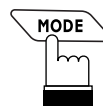
押すごとに、サブウーハーの ON/OFF が切りかわります。



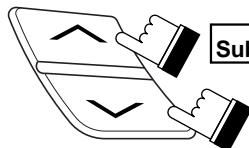
- 3** 設定が終わったら、INTLZ スイッチを押してください。通常モードに戻ります。



- 4** MODE スイッチを押して、Subwoofer モードを選択します。



- 5** 、 を押して、サブウーハーの出力レベルを調整します。



不明な点は販売店もしくは、インフォメーションセンターにお問い合わせください。

サブウーハーを接続する場合、ローパスフィルター 内蔵のアンプが必要です。

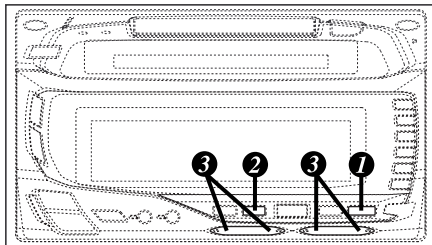
ロー・パス・フィルター

一定の周波数以下の成分を通すフィルターで、音声信号に含まれる可聴帯以上の成分を取り除く。

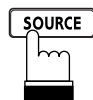
# TVの放送局を選ぶ

(マニュアル / SEEK)

(Ai-NET 対応の TV チューナーを組み合わせた場合)



- 1 SOURCE スイッチを押します。  
 押すごとにモードが切りかわります。  
 ディスプレイの表示を見ながら TV モードに  
 合わせてください。

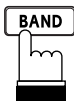


→ TUNER → TV → MD → CD → チェンジャー  
 ( 各ユニットを接続している場合に表示 )



切りかわるモードは、接続するユニットによって異なります。

- 2 BAND スイッチを押してバンド  
 (TV1、TV2、TV3)を選びます。



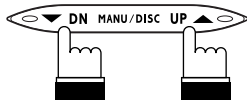
- 3 ◀◀ DN スイッチ / UP ▶▶ スイッ  
 チまたは DN スイッチ / UP ス  
 イッチを押します。

SEEK : 自動で放送局 (チャンネル) を  
 探し、受信可能なチャンネルで  
 止まります。

マニュアル : 押すごとに放送局 (チャンネル)  
 が切りかわります。

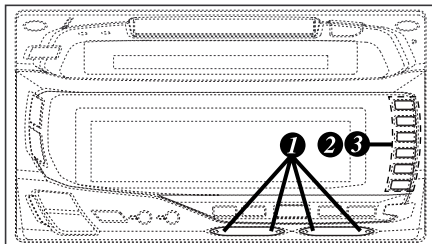


SEEK



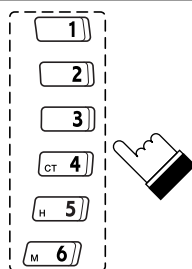
マニュアル

## TVのチャンネルを記憶する

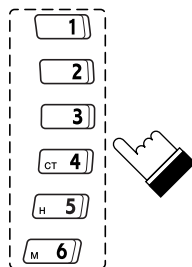


**1** マニュアルまたは SEEK で放送局  
を選びます。(61 ページ参照)

**2** [1] ~ [6] スイッチのいずれか 1  
つを 2 秒以上押します。



**3** 2 の操作の後 5 秒間の間に、記憶さ  
せたい [1] ~ [6] スイッチのいず  
れかを押します。

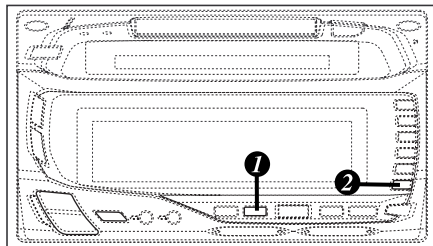


**4** さらに記憶を続けるには、手順 1 ~  
3 を繰り返します。

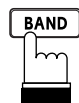



プリセットの受け付けは、ファンクション・モードが「OFF」の時です。詳しくは「ファンクション・スイッチの使いかた」(8 ~ 9 ページ)を参照してください。

## 自動でTVの放送局を記憶する





- 1** BANDスイッチを押して受信したいバンドを表示させます。



- 2** ファンクション・モードが「ON」のときに、 (A.M.E)スイッチを押します。

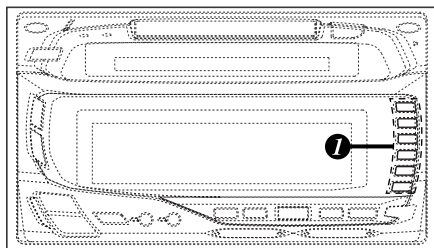




電波の強いチャンネルを選択し、 ~  スイッチに記憶されます。

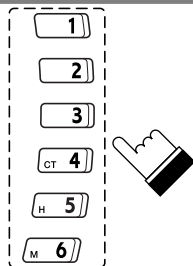


...「ファンクション・スイッチの使いかた」(8 ~ 9 ページ)を参照してください。

## 記憶したTVの放送局を呼び出す



- 1** TVモードのときに、記憶させた  ~  スイッチのいずれかを押しします。  
ダイレクトに放送局が受信されます。



プリセットの受け付けは、ファンクション・モードが「OFF」の時です。詳しくは「ファンクション・スイッチの使いかた」(8 ~ 9 ページ)を参照してください。



## リモコンで操作する

### 使用時のご注意

リモコンは、リモコン送信部をリモコンセンサーに向け 2 メートル以内でお使いください。

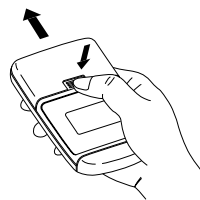
リモコンセンサーに直射日光が当たっていると、操作できない場合があります。

リモコンは小型軽量の精密機械です。破損、電池の早期消耗、誤動作や操作感の悪化の原因にならないよう、次の点に注意してお使いください。

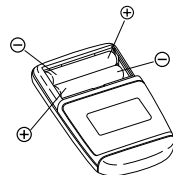
衝撃を加えない・ズボンのポケットに入れない・飲み物をかけない・湿気や埃を避ける・直射日光の当たる場所に置かないでください。

### 電池を入れる

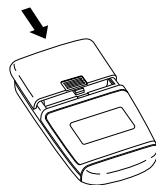
- 1 フタを開ける  
フタを少し強めに押しながら外側へ押ししてください。



- 2 電池を入れかえる  
本体の ⊕、⊖ 表示通り入れてください。



- 3 フタを閉める  
“カチッ”と音がして固定されます。



電池は単 4 乾電池 (UM-4) × 2  
をご使用ください。

### ⚠ 警告

運転中は操作をしない・表示を見ない

運転者は走行中に操作をしたり表示を見たりしないでください。走行中に操作をする  
と前方不注意となり事故の原因となります。必ず安全な場所に車を停車させてください。





## 基本操作

### 音量調整スイッチ

音量を大きくします。... スイッチ  
音量を小さくします。... スイッチ

### ミュートスイッチ

瞬時に 20dB 音量を下げます。再度押すと解除します。

### 電源スイッチ

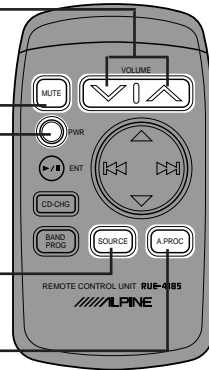
電源の ON/OFF を行います。

### オーディオ・ソース選択スイッチ

オーディオ・ソースを切りかえます。

### オーディオ・プロセッサー・スイッチ

イコライザー / サラウンド等のモードを切りかえます。



## CD / チェンジャーを操作する

### ミュージック・センサー・スイッチ

曲の頭に戻ります。押し続けると早戻しします。  
手前の曲の頭出しを行います。

### DISC セレクト・スイッチ

ディスク No. が切りかわります。

### プレイ / ポーズ・スイッチ

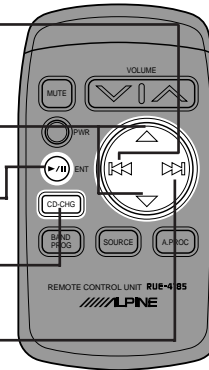
プレイ / ポーズの切りかえを行います。

### チェンジャー・スイッチ

チェンジャー操作に切りかえます。

### ミュージック・センサー・スイッチ

次の曲の頭に進みます。押し続けると早送りします。



## MD を操作する

### ミュージック・センサー・スイッチ

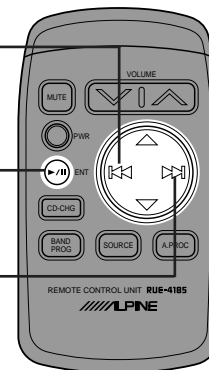
曲の頭に戻ります。押し続けると早戻しします。  
手前の曲の頭出しを行います。

### プレイ / ポーズ・スイッチ

プレイ / ポーズの切りかえを行います。

### ミュージック・センサー・スイッチ

次の曲の頭に進みます。押し続けると早送りします。





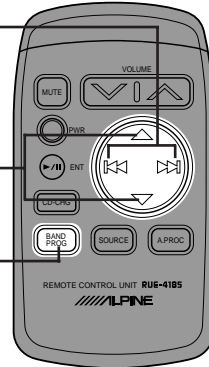
## リモコンで操作する

### ラジオを操作する

チューニング・スイッチ —————  
自動的に放送局を選びます。(SEEK)

プリセット No. 切替スイッチ —————  
プリセット No. を切りかえます。

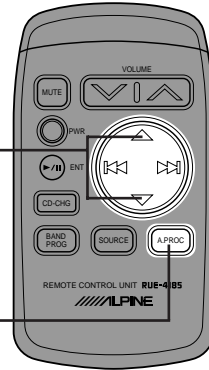
バンド・スイッチ —————  
バンドを切りかえます。



### イコライザー / サラウンドなどを操作する

メーカー設定選択スイッチ —————  
オーディオ・プロセッサー・スイッチを押した後、各モードのメーカー設定や、記憶したカーブの選択を行います。

オーディオ・プロセッサー・スイッチ —————  
押すごとにモードを切りかえます。

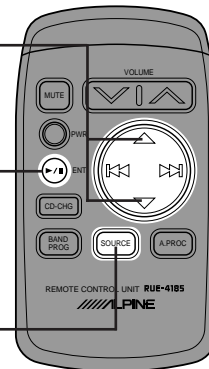


### FM 多重を操作する (MDA-W770J のみ)

ページ切りかえスイッチ —————  
FM 多重情報のページを切りかえます。

スクロール ON/OFF スイッチ —————  
FM 多重のスクロール設定が「AUTO」の場合にスクロールの ON/OFF を切りかえます。

FM 多重表示 OFF スイッチ —————  
FM 多重情報の表示を OFF にします。

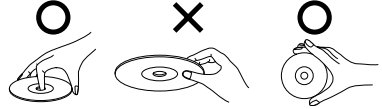


## ディスクの取り扱い

ディスクはデリケートなものです。ディスクの取り扱いにあたっては、次のことを守ってお使いください。

### 正しい持ち方

ディスクは落とさないでください。  
表面に指紋をつけないようにお持ちください。  
テープやラベルなどを貼らないでください。  
ディスクの上で字を書いたりしないでください。



### お手入れ

表面に指紋、ほこりなどが付くと音飛びの原因となります。  
柔らかい、きれいな布で、ディスクの中心から外側へ拭きとってください。  
汚れがひどい場合は、柔らかい布を中性洗剤で湿らせてから、から拭きしてください。



### 市販のアクセサリーについて

ディスクの表面を保護したり、音質の向上を目的とした市販のアクセサリーは、なるべく使用しないでください。  
ディスクの大きさや厚みに影響を及ぼし、故障の原因になることがあります。

## ミニディスクについて

### ミニディスクとは

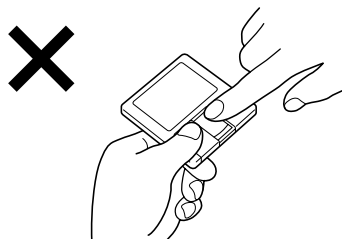
カートリッジの中に直径 64mm のディスクが収められたもので取り扱い性に優れています。ディスクに触れずに信号を読み取りますので、テープのように絡んだり音質が劣化することがありません。記録方式は ATRAC ( Adaptive TRansform Acoustic Coding ) という圧縮技術を利用して音楽データを約 1/5 にしてありますが、CD に迫る音質を実現しています。

### 取り扱い

ミニディスクはカートリッジに収納されているためホコリや指紋が付く心配がありません。ただし、カートリッジの汚れがすき間から入ったり、正しい取り扱いをしないと誤動作の原因になることがありますので、次のことを守ってお使いください。

- シャッターを開けない
- 内部にさわらない
- ホコリやごみが付いたら拭きとる  
( 外側や裏面中央の円形部 )
- 直射日光下に置かない
- 砂やホコリが入りやすい場所には置かない
- ラベルは正しい位置に貼る
- ラベルは一枚だけ貼る
- ラベルははがれないように貼る
- 聴かないときはケースに入れて保管する

シャッターを開けない



## 故障かな？ と思ったら

本機の調子が悪いときは、修理を依頼する前にもう一度、次のことをチェックしてみてください。それでも調子が悪いときは、お買い上げ店、またはお近くのサービス・ショップ、アルパイン・サービスセンターにご相談ください。

	症 状	原 因	処 置
共通部	動作しない。 ディスプレイに何も表示 されない。	車のイグニッション・キーが OFF になっている。	車のイグニッション・キーを ON に する。
		本機の電源が入っていない。	本機の PWR を押して電源を入れる。
		電源コードの接続が不完全。 ヒューズが切れている。	電源コードの接続を確実に 行う。 規定容量のヒューズと交換する。
	電源は入るが音が出ない。	音量レベルが最小になっている。	音量レベルを上げる。
ラジオ部	受信できない。	アンテナが接続されていない。 または伸びていない。	アンテナが確実に接続されているか確 認する。
	自動的に放送局を 選べない。	アンテナの長さが適切でない。	アンテナを十分に伸ばす。 破損している場合は、新しいものと交 換する。
	雑音が入る。	アンテナのアース線の接続が不 完全。	アンテナのアース線を確実に接続す る。
電波が弱く、雑音が多い。		雑音が少なくなるまで、別の放送局を 受信する。	
MD部	ミニディスクが入らない。	すでに別のミニディスクが入っ ている。	ミニディスクを取り出してから入れ直 す。
		ミニディスクの入れ方が間違っ ている。	本書を参照し、正しく入れる。
	振動で音が飛ぶ。	本機が正しく取り付けられてい ない。	正しく取り付け直す。
	振動がないのに音が飛ぶ。	ディスク傷、ディスク汚れ。 録音状態が良くない。	ディスクを交換する。
	演奏が始まらない。	ディスク傷、ディスク汚れ。 録音状態が良くない。 未録音ディスク。 音楽用ディスクでない。 結露している。	ディスクを交換する。  しばらく放置してから使う。
演奏が始まらない。 音が歪む。		車内温度が 50 以上ある。	車内温度を適温まで下げてから、演奏 させる。
	CD部	プレーヤーの内部に水滴が付い ている。	完全に露がとれてから、(約 1 時間後) 使う。
早送り / 早戻しができな い。		ディスクに傷が付いている。	ディスクを取り替える。傷ついたディ スクを使い続けると、故障の原因にな ります。
振動で音がとぶ。 振動がないのに音がとぶ。		本機が正しく取り付けられてい ない。	正しく取り付け直す。
	ディスクがひどく汚れている。 傷がついている。	ディスクをクリーニングする。 傷ついたディスクは取り替える。	

## 故障かな？ と思ったら

表 示		原 因	処 置
C D へ ッ ト ・ ユ ニ ッ ト 部	<b>High Temp.</b>	車内温度が高すぎる。	車内温度を適温まで下げる。
	<b>NO DISC</b>	ディスクが入っていない。 ディスクは入っているが、「NO DISC」と表示され、演奏または、イジェクトができない。	ディスクを入れる。 次の方法でディスクを取り出してください。 ① CD ▲ スイッチを押します。可動ディスプレイが開きます。 ② 可動ディスプレイが開いた状態で CD ▲ スイッチを2秒以上押します。
	<b>ERROR</b>	メカニズムエラー	① CD ▲ スイッチを押して、ディスクを取り出す。イジェクトできない場合はサービスショップへ。 ② ディスクを取り出してもエラー表示が消えない場合は、もう一度 CD ▲ スイッチを押す。何度押してもエラー表示が消えない場合はサービスショップへ。

表 示		原 因	処 置
M D へ ッ ト ・ ユ ニ ッ ト 部	<b>NO DISC</b>	ミニディスクが入っていない。	ミニディスクを入れる。
	<b>ERROR</b>	ディスク傷、ディスク汚れ。 録音状態が良くない。 未録音ディスク。 音楽用ディスクでない。	MD ▲ スイッチを押して、ディスクを交換する。
		ディスクの方向が間違っている。	MD ▲ スイッチを押して、正しい向きに入れ直す。
		結露している。	しばらく放置する。
<b>High Temp.</b>	メカニズムエラー。	① MD ▲ スイッチを押して、ディスクを取り出す。イジェクトできないときはサービスショップへ。 ② ディスクを取り出してもエラー表示が消えない場合は、もう一度 MD ▲ スイッチを押す。何度押してもエラー表示が消えない場合はサービスショップへ。	
	車内温度が高すぎる。	車内温度を適温まで下げる。	

## 故障かな？ と思ったら

	表 示	原 因	処 置
C D チ ェ ン ジ ャ ー 部 ( オ プ シ ョ ン )	<b>High Temp.</b>	車内温度が高すぎる。	車内温度を適温まで下げる。
	<b>NO DISC</b>	ディスクが入っていない。	ディスクを入れる。
	<b>NO MAGAZINE</b>	マガジンがCDチェンジャーにセットされていない。	マガジンをCDチェンジャーにセットする。
	<b>ERROR</b>	ディスクがマガジンに戻っていない。  メカニズムエラー。	① イジェクト・スイッチを押す。 ② 空のマガジンを入れ、もう一度イジェクト・スイッチを押しディスクを回収する。  ① イジェクト・スイッチを押す。 ② 表示が消えたら、ディスクを入れ直したマガジンを再度挿入する。 ③ それでも復旧しない... サービスショップへ。

# 規 格

## < チューナー部 >

受信周波数	.....AM ; 522 ~ 1,629kHz, FM ; 76.0 ~ 90.0MHz
実用感度	.....AM ; 22.5 $\mu$ V, FM; 0.8 $\mu$ V (75 ) : 9.3dBf(新IHF)
ステレオ・セパレーション	.....FM ; 35dB以上
SN比	.....FM ; 65dB以上
周波数特性	.....FM ; 30 ~ 15,000Hz
イメージ妨害比	.....FM ; 80dB以上
IF妨害比	.....FM ; 80dB以上

## < CD 部 >

方式	.....光学式 (コンパクト・ディスク方式)
量子化ビット数	.....1ビット
チャンネル数	.....2チャンネル (ステレオ)
周波数特性	.....5Hz ~ 20kHz ( $\pm$ 1dB)
ダイナミック・レンジ	.....93dB (1kHz)以上
SN比	.....105dB (1kHz)以上
高調波歪率	.....0.01% (1kHz)以下
チャンネル・セパレーション	.....86dB (1kHz)以上
ワウフラッター	.....測定限界以下

## < MD 部 >

SN比	.....90dB
周波数特性	.....20Hz ~ 20kHz ( $\pm$ 0.5dB)
チャンネル・セパレーション	.....85dB以上
ワウフラッター	.....測定限界以下

## < イコライザー部 >

バンド数	.....7
イコライザー周波数	.....63Hz/160Hz/400Hz/1kHz/2.5kHz/ 6.3kHz/16kHz (各 $\pm$ 10dB)

## < リモコン部 >

使用電源	.....DC1.5V $\times$ 2 (UM-4)
外形寸法	.....56 (幅) $\times$ 14 (高さ) $\times$ 105 (奥行)mm
重量	.....50g(電池は含まれない)



< 一般 >

使用電源 .....DC14.4V(動作範囲 ; 11 ~ 16V)  
 アース方式 .....⊖ アース  
 外形寸法 .....178(幅)× 100(高さ)× 155(奥行)mm  
 重量 .....3 kg  
 付属品 :

品 名	数 量
取付用部品類	1 式
電源コード	1
リモコン	1
電池(単4)	2
取扱説明書・保証書類	1 式

製品の規格および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

## 保証書について

この製品には保証書が添付されています。お買上げの際、お受け取りください。  
 必ず「販売店印・お買上げ日」を確認し、よくお読みのうえ、大切に保管してください。

## アフターサービスについて

調子が悪いとき .....まず、この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。  
 それでも調子が悪い時 .....保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。  
 お買上げ店または、お近くのサービス・ショップに、修理を依頼してください。  
 保証期間中の修理 .....保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。  
 保証期間経過後の修理 .....修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。  
 補修用性能部品 .....製造打切り後、最低 6 年間保有しています。  
 アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点はお買上げ店またはサービス・ショップ、アルパイン・サービスセンターなどにお問い合わせください。

## DHE について

MDは、高度な圧縮技術「ATRAC」により直径64mmのディスクに最長74分もの録音を可能にした。「ATRAC」は、マスキング効果（小さい音は大きい音に隠れて聴こえなくなってしまう）や最小可聴次元性とよばれるヒアリング・スレッショルド特性（低音域や高音域は中音域より聴こえにくい）を考慮して聴感上問題のない音のデータを取り去っているのだ。しかし聴感上問題は無いとは言え、これは表情豊かな音楽再生に必要なハーモニクス成分もカットしているのである。

新開発DHE(Digital Harmonics Enhancer)はここがすごい!

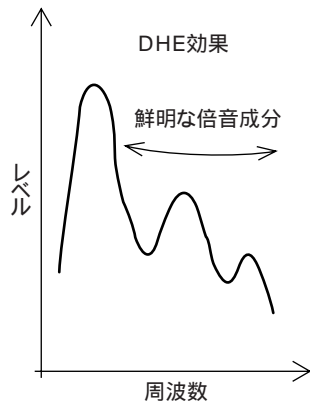
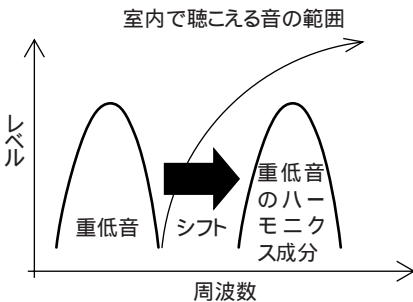
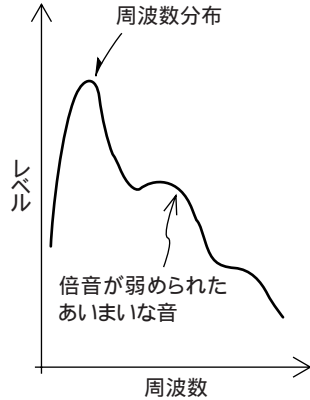
### きわだつ重低音

さまざまな制約の多い車室空間。ガラス/レザー/クロスなど音を吸収反射する素材に包まれたり、走行ノイズに邪魔されるなど音響空間としては問題が多い。更に低音を聴くためには大きな口径のスピーカーが必要だが、車内に確保するのは難しい。

DHEは音楽中の低音成分から重低音部分の成分を抽出し車載スピーカーでも再生しやすい帯域にシフトすることで、今まで不可能だった重低音の再生を可能にした。

### 艶やかでみずみずしい音色の実現

音響的に音を特徴づけているのは「ハーモニクス(倍音)」と呼ばれているもの。基本周波数の奇数倍の振動で音色を決める重要なファクターである。DHEは音楽からハーモニクス成分を抽出し、デジタル処理を施し、音楽を特徴づけている「ハーモニクス(倍音)」を強調する。表情が豊かになった音に必ず感動するはずだ。



### 原音をクリアに再現

イコライザーやサラウンド機能での補正は、音バランスの狂いや位相のズレなどで音がぼやけてしまうことがあった。その音楽自身から「ハーモニクス(倍音)」を抽出しデジタル処理するDHEは、そのような問題は一切起こらない。シャープな音像、クリアなセパレーションなど今まで味わえなかった「臨場感」を経験できる。

この音を楽しんでもらうために5つの「DHEモード」を用意!

#### Beat MAX

リズム系ベースサウンドを強調。ノリの良い低音で迫る。

#### Lyric MAX

強く、艶やかに際立つ女性ボーカル。

#### Beat MIX

バランスの取れたノリのいいベースサウンド。

#### Lyric MIX

クリア、そしてリアルな女性ボーカル。

#### Phase MIX

バランス重視。あらゆるジャンルの音楽をクリアに再生。

## お問い合わせ窓口

製品に関するご相談 / お問い合わせは、お買い上げになった販売店または下記「製品ご相談窓口」をご利用ください。

修理に関するお問い合わせは、下記「修理ご相談窓口」をご利用ください。

ご相談窓口の名称・電話番号・所在地は、変更になる場合があります。

## 製品ご相談窓口

<b>アルパインインフォメーションセンター</b> TEL : 03-3779-0711	<b>営業時間 9:30 ~ 17:30</b> ( 平日の 12:00 ~ 13:30 迄と、土日祝祭日は除く )
---	---

営業所・販社名	電話番号	住 所	営業所・販社名	電話番号	住 所
札幌営業所	011-621-4485	〒064-0821 北海道札幌市中央区北1条西22丁目2番1号 上野ビル	アルパイン九州(株)		
北関東営業所	028-636-2931	〒321-0953 栃木県宇都宮市日東宿郷4丁目2番20号 K.Dビル	営業1課(北都九州)	092-513-1071	〒816-0081 福岡県福岡市博多区井相田1丁目12番22号
東京営業所	045-541-7261	〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町1767番地	営業2課(中九州)	092-513-1072	〒816-0081 福岡県福岡市博多区井相田1丁目12番22号
千葉営業所	043-271-5950	〒262-0033 千葉県千葉市花見川区幕張本郷 6丁目26番地 須藤ビル3F	長崎営業所	0957-24-0116	〒854-0061 長崎県諫早市宇都町19番地の4
中部営業所	052-779-5655	〒465-0021 愛知県名古屋市中区東区猪子3丁目108番地	鹿児島営業所	099-253-7215	〒890-0034 鹿児島県鹿児島市田上6丁目27番15号
静岡営業所	054-283-0171	〒422-8032 静岡県静岡市有東3丁目9番1号2F	アルパイン関西(株)		
関西営業所	06-386-4136	〒564-0041 大阪府吹田市泉町3丁目18番14号	長野営業所	0262-28-7970	〒380-0921 長野県長野市大字栗田314番地の3
アルパイン東北(株)			松本営業所	0263-48-4772	〒390-0852 長野県松本市島立830-11 深澤ビル102号
仙台営業所	022-239-5331	〒983-0043 宮城県仙台市宮城野区萩野町3丁目9番5号	高崎営業所	0273-61-5813	〒370-0073 群馬県高崎市樋町3丁目16-6
盛岡営業所	0196-47-0115	〒020-0133 岩手県盛岡市青山2丁目23番7号	アルパイン近畿販売(株)		
秋田営業所	0188-65-4221	〒010-0953 秋田県秋田市山王中園5-11	阪和営業所	0722-58-8111	〒591-8023 大阪府堺市中西百島町4丁目57番地 サンライズ中西百島103号
郡山営業所	0249-25-3811	〒963-8051 福島県郡山市富久山町八山田字土布池 11番5号	滋賀営業所	0775-66-1140	〒525-0036 滋賀県草津市草津町1660番地
山形出張所	0236-45-5321	〒990-0825 山形県山形市城町北2丁目10番6号 密ビル1F	アルパイン新潟販売(株)	025-270-7021	〒950-0862 新潟県新潟市竹尾764番地6号
アルパイン中四国(株)			アルパイン埼玉販売(株)	048-664-7701	〒331-0852 埼玉県大宮市桜木3丁目179番地
岡山営業所	086-243-8257	〒700-0975 岡山県岡山市今4丁目5番2号	東京アルパイン販売(株)	03-3253-2635	〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町1の13
広島営業所	082-230-0500	〒733-0001 広島県広島市西区大芝3丁目14番10号	アルパイン福井販売(株)	0776-53-1565	〒910-8051 福井県福井市米松2丁目24番地20号
山口出張所	0839-72-6848	〒754-0002 山口県吉野郡小郡町大字下郷2216番地の1	アルパイン北国販売(株)	0762-40-8111	〒921-8066 石川県金沢市矢木3丁目72番1号
高松営業所	087-834-0426	〒760-0079 香川県高松市松崎町34番地の2	アルパイン三重販売(株)	0593-80-0220	〒510-0235 三重県鈴鹿市南江島7-14
愛媛出張所	089-958-4707	〒791-1104 愛媛県松山市北土居町443-1 エクスセル12 1-B	アルパイン京都販売(株)	075-351-6406	〒600-8480 京都府京都市下京区五条通 堀川東小泉町113番地の1
			アルパイン兵庫販売(株)	078-681-9711	〒652-0807 兵庫県神戸市兵庫区浜崎通5の6
			アルパイン高知販売(株)	0888-84-6800	〒780-8122 高知県高知市高須新町3丁目10番8号
			アルパイン沖縄販売(株)	0988-66-1916	〒900-0003 沖縄県那覇市安謝217番地3

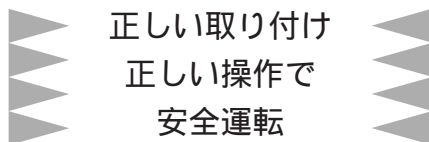
## 修理ご相談窓口

管轄エリア	問い合わせ窓口	電話番号	住 所	管轄エリア	問い合わせ窓口	電話番号	住 所
北海道	アルパインカスタマーズサービス(株)札幌	011-642-1688	〒064-0821 北海道札幌市中央区北1条西22丁目2番1号	滋賀			
青森				京都			
岩手				大阪	アルパインカスタマーズサービス名残(株)関西	06-386-4130	〒564-0041 大阪府吹田市泉町3丁目18番14号
秋田				奈良			
山形				兵庫			
宮城				岡山			
福島	アルパインカスタマーズサービス(株)大宮	048-664-9711	〒330-0038 埼玉県大宮市宮原町1-664	鳥根			
栃木				鳥取	アルパインカスタマーズサービス西日坂(株)岡山	086-244-8163	〒700-0975 岡山県岡山市今4丁目5番2号
茨城				広島			
群馬				山口			
東京				香川			
神奈川				愛媛	アルパインカスタマーズサービス西日坂(株)高松	087-837-8637	〒760-0079 香川県高松市松崎町34番地の2
埼玉				徳島			
千葉				高知			
新潟	新潟	025-270-7021	〒950-0862 新潟県新潟市竹尾764番地6号	福岡			
長野				佐賀			
山梨	長野	0262-26-4199	〒380-0921 長野県長野市大字栗田314番地の3	大分			
静岡				熊本	アルパインカスタマーズサービス西日坂(株)福岡	092-513-1081	〒816-0081 福岡県福岡市博多区井相田1丁目12番22号
愛知	アルパインカスタマーズサービス名残(株)中部	052-760-0850	〒465-0021 愛知県名古屋市中区東区猪子3丁目108番地	長崎			
三重				鹿児島			
岐阜				宮崎			
福井				沖縄	沖縄	0988-66-1916	〒900-0003 沖縄県那覇市安謝217番地3
富山	北国	0762-40-8111	〒921-8066 石川県金沢市矢木3丁目72番1号				
石川							

修理ご相談窓口

Table with 4 columns: 名称, 電話番号, 住所, and detailed list of repair services and companies across various Japanese prefectures including Hokkaido, Tohoku, Kanto, and Chugoku.

Table with 4 columns: 名称, 電話番号, 住所, and detailed list of repair services and companies across various Japanese prefectures including Shikoku, Kyushu, and Chugoku.



正しい取り付け  
正しい操作で  
安全運転

仕様及び外観は、改良のために予告なく変更する場合があります。

本説明書の写真やイラストは、撮影・印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。

本製品は国内専用です。

**ALPINE®**

### アルパイン株式会社

〒141-8501 東京都品川区西五反田1丁目1番8号

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

TEL : 03-3779-0711 FAX : 03-3494-1767

電話は混雑が予想されます。問い合わせは、なるべく書面（FAXまたはハガキ等）をご利用ください。

電話受付時間 9:30 ~ 17:30（平日の12:00 ~ 13:30と土日、祝祭日は除く） FAXは、24時間受付けております。

Designed by ALPINE Japan Printed in Japan (S) 68P11646Y61-C